

政策1 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策1 幼児教育の振興・充実

施策2 豊かな心を育む教育の充実

施策3 確かな学力を育てる教育の充実

施策4 健やかな体を育てる教育の充実

施策5 ICTの活用による教育の充実

施策6 特別支援教育の充実

施策7 社会の変化や課題に対応した教育の推進

【施策1 幼児教育の振興・充実】

- 1 多様な体験を重視した特色ある幼児教育を推進するとともに、障がい児の幼稚園への入園を促進します。
- 2 家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
- 3 教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動を支援します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-01-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	評価指標					平成27年度実績																
幼稚園就園奨励費事業	私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う。幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	<table border="1"> <tr> <td>懐く</td> <td>励む</td> <td>挑む</td> <td>生涯学習 環境整備</td> <td>社会貢献 人材育成</td> <td>産学官民 の連携</td> <td>地域の 教育力</td> <td>総合的な 教育施策</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成27年度の評価</td> <td colspan="5">平成27年度の評価</td> </tr> </table>					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	平成27年度の評価			平成27年度の評価					入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 対象園児 711名
懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成						産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策														
平成27年度の評価			平成27年度の評価																							
市計画<200>	継続	継続	継続	継続						継続																
児童家庭課	事業費(千円)	78,090	79,342	79,342						93,542																

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-01-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度						平成27年度実績										
幼稚園就園準備支援事業	幼稚園が実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に係る保護者負担を支援する。	子育て支援事業の参加費を助成	子育て支援事業参加費の助成	子育て支援事業参加費の助成	<table border="1"> <tr><td colspan="5">評価指標</td></tr> <tr><td colspan="3">平成27年度の評価</td><td colspan="2">平成27年度の評価</td></tr> </table>					評価指標					平成27年度の評価			平成27年度の評価		子育て支援事業の参加費を助成対象園児110名
評価指標																				
平成27年度の評価			平成27年度の評価																	
市計画<201>	継続	継続	継続	継続	継続															
児童家庭課	事業費(千円)	1,342	1,148	1,148						637										

1-01-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する				平成27年度実績
幼稚園協会連携事業	市内私立幼稚園8園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。	幼稚園協会に対する助成	幼稚園協会に対する助成	幼稚園協会に対する助成	幼稚園教育振興のため、内容の確認を行いながら継続して助成を行う。	続ける	点検する	市内私立幼稚園の連携、協力体制を強化し、幼稚園教育の充実を図る必要がある。			補助金の助成により、全市の幼児教員の交流が図られた。
					評価指標 幼児教育の資質向上						
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価		A	
市計画<202>	継続	継続	継続	継続	幼稚園協会に助成することにより、協会主催の研修会等が開催された					幼稚園協会に助成することにより、研修会等が開催され、市内幼稚園の教員間の交流が図られ、情報共有による幼児教育の充実が図られた。	継続
教育総務課	事業費(千円)	160	162	162						160	

1-01-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	広げる	改善する				平成27年度実績
幼稚園振興事業	幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、幼児教育における教材教具、障がい児教育における教材教具並びに人件費等の経費を助成する。	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	幼稚園経営の安定化、幼児教育の充実、保護者負担軽減の視点から、市内各幼稚園を支援する。	広げる	改善する	私立幼稚園の教育内容の充実を図るため教職員研修、障がい児教育、教材教具の充実などの支援が必要である。			補助金の助成により、幼児教育の充実が図られた。
					評価指標 教材購入・職員研修・障がい児保育の実績						
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価		A	
市計画<203>	継続	継続	継続	継続	各園に助成することにより、各園が掲げる特色ある教育が実現され、市内の幼児に優良な幼児教育が提供された。					助成により、本来市の機能として行わなければならない幼児教育の分野について、各園において教員研修、教材教具が行われ、幼児教育の充実が図られた。また、障がい児保育の援助を行った。	継続
教育総務課	事業費(千円)	6,886	6,977	6,977						6,886	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-01-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
幼保小連携推進事業	幼児教育から学校教育への移行にあたり、幼稚園、保育園、小学校が抱える問題点を整理するための懇話会を設置し、スムーズな移行を図るための連携、懇話及び研修を行う。 平成23年「幼児教育の連携に関する懇話会」を設置。	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修） キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修） キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	懇話会の開催 幼保小連携に関する講演会・研修会（教員間交流・研修） キャリア教育的交流 異学年交流 保護者間交流 情報交換会	幼児教育の振興・充実を図るとともに幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行を図る。							幼児教育について共通の理解と相互連携を図るための懇話会を設置し、幼稚園、保育園、小学校関係者の連携を深める。	アクションプランに基づき、保育園参観研修会や教員間交流会が実施された。
					評価指標	会議等の開催回数							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A		
市計画<376>	継続	新規	継続	継続	関係者による「懇話会」での意見を参考にしながら、アクションプランに基づいた保育園参観研修や教員間交流会が実施された。			アクションプランに基づき、子ども・教員・保護者を含めた交流会や研修会が実施された。				継続	
学校教育課	事業費(千円)	100	110	110								0	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-02-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
学校教育振興事業	児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取り組む資質を養う総合学習や、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、職業体験を通して社会人としての自立意識を育てるインターンシップ事業を推進する。	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	各校が独自の教育を推進するために継続して助成を行う。							児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会の充実を図るため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。	補助金の助成により、児童生徒の「生きる力」が育まれた
					評価指標 総合学習の実施状況								
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A		
					各校教育振興会に助成することにより、各校が特色ある教育を実現している。							助成により各校が自主性、独自性を生かし、様々な体験をさせることにより、児童生徒の「生きる力」が育まれた。	継続
市計画<301>	継続	継続	継続	継続								継続	
教育総務課	事業費(千円)	7,842	7,982	7,982								7,842	

1-02-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
地域に根差した特色ある学校教育推進事業 <旧事業名> 心の教育推進事業 【統合】	児童・生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、ふるさと意識の醸成、自尊心や他人への思いやり、生命を尊重する心、公共の精神、キャリア教育など、社会科、道徳の時間などを中心にした「生きる力」を育む教育の充実に取り組む。	・福祉読本編集委員会の開催 ・社会科副読本編集委員会の開催 ・学校教育推進方針編集委員会の開催 ・きたひろ夢ノートの印刷	・福祉読本編集委員会の開催 ・社会科副読本編集委員会の開催 ・学校教育推進方針編集委員会の開催 ・きたひろ夢ノートの印刷	・福祉読本編集委員会の開催 ・社会科副読本編集委員会の開催 ・学校教育推進方針編集委員会の開催 ・きたひろ夢ノートの印刷	発達段階に応じて、規範意識や公正な判断力、生命・人間尊重の精神など子どもたち成長を育む教育の推進・充実。							道徳教育や、福祉・人権教育を行う上で参考となす教材資料の提供が必要である。 学校だけでなく、家庭、地域との連携した取り組みが必要である。	福祉読本編集委員会を小・中3回開催した。
					評価指標 配布した教材資料の活用状況								
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A		
					福祉読本編集委員会を小中で3回開催し、福祉読本「ともに生きる」の授業での指導方法の工夫・改善を行った。							H26年度から使用している改訂版「ともに生きる」の実践交流を行い、指導方法の工夫・改善に資することができた。	継続
市計画<302>	継続	統合	継続	継続								継続	
学校教育課	事業費(千円)	403	5,452	403								34	

1-02-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
学校図書館活用事業	「学校図書センター」を中心とし、ネットワークを活用した蔵書の有効活用を図るとともに、学校司書を各小中学校に巡回配置し、選書や図書館の環境整備等、学校図書館の活性化を図る。	学校図書購入費 図書センター(豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応) 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置(3名)	学校図書購入費 図書センター(豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応) 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置(3名)	学校図書購入費 図書センター(豆次郎費、図書センター更新資料費、リクエスト対応) 学校図書館ネットワークシステム借上げ 学校司書の中学校への配置(3名)	資料更新を重点においた学校図書館の環境整備を図り、子どもたちの読書意欲を高める。							読書活動は、子どもたちの豊かな感性や想像力を育む上で必要である。 学校と図書館、先生と司書との連携による魅力ある学校図書館整備をはじめとした学校図書館の活用が必要である。	平成28年1月末現在 一人あたり年間貸出冊数 小学校 22.8冊 中学校 6.2冊
					評価指標 一人あたり年間貸出冊数								
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			B		
					豆次郎利用数調査を実施。学校司書を中学校に配置し、学校との連携による読書活動の推進を実施。							今後の学校図書館の活性化のために、各学校に合わせた取り組みや支援等が課題。	豆次郎利用数調査の実施
市計画<303>	継続	継続	継続	継続								継続	
学校教育課	事業費(千円)	16,771	15,770	15,770								15,299	

【施策3 確かな学力を育てる教育の充実】

- 1 基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- 2 総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。
- 3 学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
- 4 学力検査等の結果を生かした指導方法の工夫改善を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
1-03-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学力向上推進事業	市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもの学習意欲を高める指導内容や個に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。	標準学力検査の実施 学校改善プランの作成 全国学力・学習状況調査への参加	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 学力向上PTの開催	現状の児童生徒の学力状況を分析、検証し学力向上につながる指導方法等の検討。				学力向上を図るためには、現状の児童生徒の学力を把握することが必要である。 学校での取組のみならず、家庭、地域と連携した取組も必要である。				標準学力検査の実施 学校改善プランの作成 全国学力・学習状況調査への参加
					評価指標	全市小中学校正答率							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A		
市計画<306>	継続	継続	継続	継続	標準学力検査の実施、道が実施した全国学力・学習状況を活用した調査への全校参加								継続
学校教育課	事業費(千円)	5,367	5,474	5,474	標準学力検査結果や全国学力・学習状況調査結果を分析・検証したなかで、学力向上に向けた具体的な方策を示していくとともに、各校で指導方法の工夫が見られる。								5,367
1-03-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学校教育相談員活用事業	学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	各学校長や教育委員会職員等への指導・助言、情報提供による社会の変化に対応した学校経営等の充実。				今日的な教育課題の解決のための指導助言が必要である。				学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施
					評価指標	各学校への訪問回数							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A		
市計画<304>	継続	継続	継続	継続	必要に応じて、各学校への訪問や指導・助言、情報提供等を行った。								継続
学校教育課	事業費(千円)	2,403	2,421	2,421	指導主事的な立場で各学校への指導・助言を行うとともに、学校経営の充実や職員の資質向上を図るための研修計画、学校教育推進の方針の作成など、学校教育の充実が図られている。								2,273

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-03-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
小学校教育振興経費 (小学校教育振興経費)	小学校教育振興経費 (教材・教具等)	教材・教具教育環境の整備 経常分13,746千円 臨時分 65千円	教材・教具教育環境の整備	教材・教具教育環境の整備	学校教育における教材教具の充実。				各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。			教材教具の整備
					評価指標							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	継続	継続	教材教具の充実を図った			各校の特色、時代に合った教材教具が必要となり、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。			継続	
教育総務課	事業費(千円)	13,811	13,811	13,811							8,244	

1-03-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
中学校教育振興経費 (中学校教育振興経費)	中学校教育振興経費 (教材・教具等)	教材・教具教育環境の整備 経常分11,606千円 臨時分5,455千円 (吹奏楽部楽器購入等)	教材・教具教育環境の整備	教材・教具教育環境の整備	学校教育における教材教具の充実。				各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。			教材教具の整備
					評価指標							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	継続	継続	教材教具の充実を図った			各校の特色、時代に合った教材教具が必要となり、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。			継続	
教育総務課	事業費(千円)	17,061	17,061	17,061							10,934	

【施策4 健やかな体を育てる教育の充実】

- 健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組を推進します。
- 食の正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、家庭や地域と連携した食育を推進します。
- 安全で安心な給食を提供するため、施設・設備の整備を促進するとともに、食物アレルギーや異物混入に対する取組を進めます。
- 児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績		
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策			
					平成27年度の評価			平成27年度の評価							
1-04-001	学校給食衛生管理事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する							平成27年度実績	
	給食を実施するうえで、食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。	給食用食品の微生物検査の実施 老朽化した給食施設・設備機器の更新	給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施 給食施設・設備の更新 小中学校用食器の更新	給食用食品の微生物検査・理化学検査の実施 給食施設・設備の更新 小中学校用食器の更新	衛生管理を徹底するために設備機器を整備・更新し、安心・安全な給食を提供する。				施設設備機器類を計画的に更新し、衛生管理体制の充実を図る。					食材等の微生物検査の実施及び設備・備品の更新を実施。 高性能断熱食缶及び保冷材凍結庫の導入	
					評価指標	設備機器更新率									
					平成27年度の評価	B		平成27年度の評価					B		
					老朽化した施設、設備機器、備品等を計画的に更新するとともに、食品中等の微生物検査を実施した。									備品等の老朽化が進んでいるが、更新が追いついていない状況にある。今後も引き続き計画的な更新が必要となってくる。	
市計画<207>	継続	継続	継続	継続											継続
給食センター	事業費(千円)	4,403	7,862	8,022											9,460
1-04-002	食に関する指導の推進事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する							平成27年度実績	
	児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 食物アレルギーに関する市民向け講演会の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。				児童・生徒に学校栄養教諭・教諭が教科・給食時間などで食に関する指導を行う。また、家庭・地域と連携を図り取組の充実を図る。					学校栄養教諭を中心とした、食に関する指導を実施した。	
					評価指標	食に関する授業実施時数									
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価					A		
					望ましい食習慣を身に付け、地震の健康を維持していくための食指導を実施した。									「食の課題と指導の手引き」を活用し、給食の時間、教科指導の時間に栄養教諭が中心となり指導を行った。栄養教諭の人員や他業務との関係、学校での指導時間の問題などから十分な時数が確保できない。	
市計画<208>	継続	継続	継続	継続											継続
給食センター	事業費(千円)	62	64	64											21

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-04-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学校給食費公 会計化事業	適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担の軽減のため、学校給食費の公会計化を実施する。 また、新たに給食費収納管理システムを構築し、収納管理体制を整備する。	学校給食費の公会計化に向けた給食費管理システム及び周辺環境機器の整備	収納管理システムの運用 公会計による給食費会計の運営	収納管理システムの運用 公会計による給食費会計の運営	事務の透明性の向上、保護者の負担の公平性の確保する。			学校給食費の予算及び決算処理に関する透明性の一層の向上を図り、教職員等の事務軽減を図る。					/
					評価指標 進捗率・収納率					/			
					平成27年度の評価								
市計画<350>	継続	新規	継続	継続									
給食センター	事業費(千円)	9,555	4,627	4,627									

1-04-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
中学校体育連 盟支援事業	中学校体育連盟連盟が実施する市内、管内大会を通じて中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟への事業費の支援により、生徒間の交流や習得した技能を発揮する場の提供をはじめ、市内スポーツと市教育の振興に寄与する。	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中学校における体育部活動振興のため継続して助成を行う。			中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。					中学校体育連盟に 交付金を交付。
					評価指標 実施種目数					/			
					平成27年度の評価 A								
市計画<223>	継続	継続	継続	継続									
教育総務課	事業費(千円)	5,323	5,411	5,411	中体連に助成することにより、市内中学生のスポーツ振興が図られた。					中体連が、円滑に大会を運営できるよう助成を行うことにより、生徒間の交流、生徒の健全な育成が図られると共に、スポーツ振興が図られた。	継続		
											5,323		

1-04-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
全国全道中体 連・中学校文 化部活動大会 出場支援事業	市立中学校の生徒が、日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合や予選会等を経て全道規模以上の文化部活動大会等に参加する場合、その派遣に要する費用の一部を助成する。	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	中学生が部活動に対し十分な活動ができるよう支援し、部活動を活性化させる。			中学校における部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。					中体連全道大会 56名出場 中体連全国大会 1名出場 文化部活動全道大会 1団体出場(大曲 中学校吹奏楽部)
					評価指標 大会出場生徒数					/			
					平成27年度の評価 A								
市計画<225>	継続	継続	継続	継続									
教育総務課	事業費(千円)	2,100	2,100	2,100	中体連、文化部活動の全道、全国大会出場者に対し旅費等の助成を行なった。					全道、全国大会への出場経費を助成することにより、保護者の負担軽減、スポーツ、文化活動への参加拡大を図る。	見直し		
											2,503		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-04-006	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する						平成27年度実績
子どもの体力向上推進研究事業 【新規】	義務教育9年間を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力の育成に向けて、幼保小中連携した体育授業や学校教育活動全体の充実を図る。	検討チームの設置・運営 小学校体育授業のサポート	検討チームの設置・運営 小学校体育授業のサポート	検討チームの設置・運営 小学校体育授業のサポート	義務教育を修了するにふさわしい生活習慣、運動能力・体力を身につけるための研究を行う。			検討チームを設置し、具体的な手立てを研究する。					/
					評価指標			加入市町村数					
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<377>	新規	新規	継続	継続									
学校教育課	事業費(千円)	440	440	440									

1-04-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学校保健事業 (小学校保健経費・中学校保健経費)	児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、定期健康診断や定期歯科検診等の各種検診事業を実施する。	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金 小学校9,214千円 中学校5,431千円	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金	学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康を保持する。			児童生徒の健やかな体を育てる教育を進めていくため、健康状態を把握することが必要である。体力向上、規則正しい生活習慣の確立などについて、学校だけでなく、家庭、地域との連携した取組が必要である。					各種検診事業、関係備品購入、内科検診看護師賃金
					評価指標			健康診断受診率					
					平成27年度の評価			A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	児童、生徒の健康診断及び教職員の健康診断を実施した。			児童・生徒の各種健康診断の充実(平成24年度より耳鼻科検診開始)及び教職員の教職員の健康管理体制の充実が図られた。					
学校教育課	事業費(千円)	14,645	14,645	14,645									14,175

1-04-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
スポーツ振興センター負担金等 (小学校管理経費・中学校管理経費)	学校管理下において児童生徒に事故(けが)があった場合の医療費等への補償に対応する。	学校スポーツ振興センターへの加入 小学校2,885千円 中学校1,706千円	学校スポーツ振興センターへの加入	学校スポーツ振興センターへの加入	在籍児童生徒全員の加入負担金の支出。			児童生徒のけが等に対し、医療費等の補償を行うとともに、日頃からの安全管理を行うことが必要である。					学校スポーツ振興センターへの加入及び補償の対応 小学校負担金2,935千円 中学校負担金1,625千円
					評価指標			補償件数					
					平成27年度の評価			A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	在籍児童生徒全員が加入し、学校管理下中の事故への補償に対応している。			発生した児童生徒のけが等に対する医療費等の補償を適切に実施した。					
学校教育課	事業費(千円)	4,561	4,561	4,561									4,560

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-04-103	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する				平成27年度実績	
北広島市小・中学校給食運営委員会経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため教職員・保護者及び学校医等から助言を受ける。 運営委員 13名	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 5回開催 小学校436千円 中学校436千円	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 3回開催 小学校277千円 中学校277千円	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 2回開催	学校給食運営に関する重要な事項について助言を受ける。			透明性のある学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。			運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～2回	
					評価指標	開催回数						
					平成27年度の評価	A			平成27年度の評価			A
					学校給食運営に関する重要な事項について助言を受けた。	学校給食運営に関する重要な事項について助言をうけ、学校給食は適正に運営されていた。						
経常経費	継続	継続	継続	継続							継続	
給食センター	事業費(千円)	872	554	198							307	

1-04-104	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する				平成27年度実績	
学校給食施設維持管理経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	学校給食を提供するための施設維持管理経費	施設維持管理経費 小学校 1,669千円 臨時 2,106千円 当繕 1,188千円 中学校 3,590千円 臨時 2,754千円	施設維持管理経費	施設維持管理経費	学校給食を安定的に提供するうえで施設設備等を適正に維持する。			学校教育の一環として食教育にあたり教材としての学校給食を提供する。			施設・設備の修繕及び施設管理委託の実施	
					評価指標	配食数						
					平成27年度の評価	A			平成27年度の評価			A
					学校給食を安定的に提供するために計画的に施設設備等の維持管理を行なった。	安定した学校給食の提供を行なうため、計画的に施設・設備の修繕等を行なった。						
経常経費	継続	継続	継続	継続							継続	
給食センター	事業費(千円)	11,307	10,142	10,142							12,984	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-04-105	事業内容 学校給食を提供するための運営経費 栄養士3名・ボイラー技士2名分の報酬含む (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	平成28年度 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 小 109,603千円 臨時 0千円 中 137,939千円 臨時 0千円	平成29年度 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	平成30年度 市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	めざす 拡げる 改善する 栄養のバランスがとれた給食を提供し食生活の改善を図る。	学校給食を通して食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることが重要である。	市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 配食数	平成27年度の評価 A	平成27年度の評価 A	継続
給食センター	事業費(千円)	247,542	256,022	256,022	安全で安心な給食を提供するとともに、異物混入に対する取組みを行なった。	児童生徒が楽しく食事をすること、望ましい食習慣の形成を図ること、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ることを目標に、栄養のバランスが取れた給食を提供した。	252,011	

1-04-106	事業内容 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行い学校給食の向上を図るための北海道給食研究協議会運営経費 道内市町村が会員 (小学校給食運営経費)	平成28年度 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	平成29年度 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	平成30年度 学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	めざす 拡げる 改善する 学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。	学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。	学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 加入市町村数	平成27年度の評価 A	平成27年度の評価 A	継続
給食センター	事業費(千円)	36	37	37	学校給食に関する調査研究及び情報交換を行なった。	学校給食に関する調査研究及び情報交換を行い、学校給食運営に生かされている。	37	

【施策5 ICTの活用による教育の充実】

- 1 学びの充実を図るため、積極的にICTを活用するとともに、指導方法・指導体制の工夫改善を進めます。
- 2 教員のICT活用指導力向上のための研修等を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
1-05-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学校ICT環境 整備事業	情報化社会へ適応するための情報処理能力向上をはじめ、ICTを活用した授業への対応による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、児童生徒用・教職員用コンピュータ、周辺機器、アプリケーションの整備を行う。	校務用コンピューター、教室用プロジェクターの更新 校務支援システムの導入・運用	校務用コンピューター、教室用プロジェクターの更新 校務支援システムの運用	中学校教育用コンピューター、電子黒板ユニット、教育用コンテンツの更新 校務支援システムの運用	情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に更新、新しい技術の導入を行う。			ICTを活用し、より充実した教育環境を提供するためには、日々変化する情報通信技術に対応していくことが必要である。					中学校校務用コンピュータにタブレット端末160台を整備。 既存機器の保守、修繕等
					評価指標 学校ICT機器の稼働状況								
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A		
市計画<212>	継続	継続	継続	継続	情報化社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に機器の更新、保守を行った。			中学校校務用コンピュータにタブレット端末の導入、普通教室の無線通信機能の整備、教育用ソフトウェア等の整備を行い、ICTを活用した教育の充実を図った。					継続
教育総務課	事業費(千円)	71,416	73,483	76,868									66,900

【施策6 特別支援教育の充実】

- 1 通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
- 2 特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
- 3 特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
1-06-001	特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級指導教室児童を対象に通学費の支援を行う。	平成28年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学校1,274千円 中学校 833千円	平成29年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学生26名 中学生18名 通級児童40名	平成30年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学生26名 中学生17名 通級児童40名	めざす	続ける	点検する							平成27年度実績
特別支援教育 就学奨励費援助事業					障がいを持つ児童生徒が、十分な教育を受ける機会の確保を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減。			障がいを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることが必要である。					小学校24人 中学校15人 通学費46人の支給	
					評価指標 援助児童生徒数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
					特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者へ学用品等の経費の助成を行った。			特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者に制度を周知し、経済的負担の軽減を図った。						
市計画<209>	継続	継続	継続	継続									継続	
学校教育課	事業費(千円)	2,107	2,265	1,976									2,155	
1-06-002	特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応していくため、また教員の理解と資質の向上、保護者の理解を進めるとともに、学校内の体制の整備、学校・保護者に対する支援体制の充実させるために特別支援教育支援員・特別支援学級介助員を配置する。	平成28年度 特別支援教育支援員(19人)、特別支援学級介助員(14人)の配置 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成29年度 特別支援教育支援員の配置(22人) 特別支援学級介助員の配置(14人) 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成30年度 特別支援教育支援員の配置(22人) 特別支援学級介助員の配置(14人) 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	めざす	広げる	改善する							平成27年度実績
特別支援教育 推進事業					通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援、学校全体による支援体制の充実。			特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけでなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。					特別支援学級支援員17人、特別支援学級介助員14人を配置及び特別支援学級の備品・消耗品の購入、特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施	
					評価指標 支援員配置数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 B						
					特別支援学級支援員、特別支援学級介助員配置により特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施できた。			配慮を必要とする児童生徒への対応について学校全体で取り組む体制づくりは整備されつつあるが、今後学校の事情に応じて計画的に配置していくことが必要である。						
市計画<211>	継続	継続	継続	継続									継続	
学校教育課	事業費(千円)	38,626	42,462	42,462									36,246	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-06-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
教育支援委員会 (小学校教育 振興経費)	特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について、調査、検討するため就学指導委員会を開催する。 委員16名	教育支援委員会に名称変更するとともに、委員会の役割を、就学時及び就学中の一貫した児童生徒への支援機能を付加して開催する。	教育支援委員会の開催	教育支援委員会の開催	専門家による調査や検査結果に基づき、対象児童生徒の保護者への適切な就学指導と就学先の提供。				障がいを持つ児童生徒の保護者に、子どもの状況や学校、家庭が共に、子どもの成長を支援していくことについて理解をしてもらうことが必要である。					教育支援委員会の開催(3回)
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標			就学指導委員会開催回数						
学校教育課	事業費(千円)	652	652	652	平成27年度の評価			A	平成27年度の評価					A
					教育支援委員会を3回開催し、児童生徒の就学先の検討を行った。			就学時検診での検査結果や各学校の依頼による在籍児童生徒の検査結果を基に、その児童生徒に適切な就学先の検討を行い、保護者に提供することができた。					継続	
													652	

1-06-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	広げる	改善する						平成27年度実績	
特別支援教育 アドバイザー の配置 (教育委員会 事務局運営経 費)	障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に2名配置する。(非常勤)	専門職非常勤職員配置(2名)し、学校への訪問・指導助言・教育相談を充実する。	専門職非常勤職員配置(2名)し、学校への訪問・指導助言・教育相談を充実する。	専門職非常勤職員配置(2名)し、学校への訪問・指導助言・教育相談を充実する。	各学校長や教職員への指導・助言、情報提供及び保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力の向上を図るための支援体制の充実。				特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。					専門職非常勤職員2名配置、学校・教職員に対し指導・助言、情報提供や保護者との相談などや、就学指導全般に対する業務を実施
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標			特別支援教育相談件数						
学校教育課	事業費(千円)	4,994	4,994	4,994	平成27年度の評価			A	平成27年度の評価					A
					特別支援教育の理解と指導力の向上を図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実を図った。			就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことができ、円滑な就学指導が出来た。					継続	
													5,096	

1-06-103	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
特別支援教育 関連協議会 (教育振興経 費)	知的障がい及び言語障がい教育の振興を図るため、北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加	北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加	北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加	北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加	北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への負担金の支出。				協議会へ参加することにより、学校間の連携や情報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも必要である。					北海道特別支援学級教育研究連盟、北海道言語障害児教育研究協議会への参加
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標			各協議会への参加状況						
学校教育課	事業費(千円)	76	76	76	平成27年度の評価			A	平成27年度の評価					A
					各協議会へ担当教職員が参加し、情報交換等を行っている。			全道各市の組み状況や支援体制などの情報収集や指導方法の検討などが等が行なわれ、教職員の資質向上が図られた。					継続	
													76	

【施策7 社会の変化や課題に対応した教育の推進】

- 1 成長の足跡を確かめ、夢や目標に向かって挑戦する人材育成を目指す「きたひろ夢ノート」の実践を充実させるとともに、望ましい社会性や職業観・勤労観を育成するキャリア教育を推進します。
- 2 国際化に対応するため、英語教育に取り組むとともに、外国語指導助手(ALT)の活用など、コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 3 子どもの権利をはじめとした人権教育や環境、福祉、平和、防災教育を充実・発展させるための取組を推進します。
- 4 姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

1-07-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する						平成27年度実績	
外国語指導助手活用事業	児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。	外国人の指導助手4名任用	英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	英語指導助手4名を計画的に各小中学校に派遣	新学習指導要領による小、中学校における外国語(英語)に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。			免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。 英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。						英語人指導助手を計画的に各小中学校へ派遣(4名)
					評価指標	英語指導助手数								
					平成27年度の評価	A					平成27年度の評価	A		
市計画<213>	継続	継続	継続	継続	小、中学校の外国語活動の授業に英語指導助手を派遣し、特にコミュニケーション能力の育成が図られている。	小学校5,6年生において外国語活動の授業が必修となったことから、効率的、計画的に英語指導助手の活用を図っていく必要と異文化に触れる国際性を高めた。					継続			
学校教育課	事業費(千円)	15,647	15,711	15,877						14,953				

1-07-001-1	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する						平成27年度実績	
外国語指導助手活用事業 【拡大】	学習指導要領の改訂による小学校中学年への外国語活動の位置づけや高学年における教科化に向けた円滑な実施を図るため、増時数に伴う外国語指導助手の配置を拡大する。(2名)		外国語指導助手を2名増員	外国語指導助手を2名増員	新学習指導要領による小、中学校における外国語(英語)に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。			免許外教員が教える小学校の外国語活動の授業への支援体制が必要である。 英語指導助手の学校への派遣、地域の人材の活用が必要である。						
					評価指標	英語指導助手数								
					平成27年度の評価						平成27年度の評価			
市計画<213>	拡大		拡大	継続										
学校教育課	事業費(千円)		7,037	7,037										

1-07-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	続ける	点検する					平成27年度実績	
郷土資料教材 化事業 【統合】	地域に根ざした授業を行うため、市内小・中学校の教員が独自で開発した教材や、市内の教育資源を教材として各教科に活用できる資料をデジタル化した郷土資料教材を作成し、教育委員会のホームページに掲載して地域に根ざした授業の充実を図る。	【地域に根差した特色ある学校教育推進事業に統合】 《平成27年度終了》			地域に根ざした授業を行うため、市内の教育資源を題材とした指導教材の充実。			生まれ育った地域をより知ることによる郷土愛や授業への興味関心を引く独自の教材の提供が必要である。					社会科副読本編集委員会を6回開催し、平成27年度改訂版の作成及び印刷 2,600部
					評価指標 開発した教材数/目標とする教材開発数								
					平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 B						
市計画<228>	継続	統合			改訂に向けた社会科副読本編集委員会を開催し、小学校社会科副読本の改訂版の作成等を行った。			社会科副読本により、郷土に対する関心を高め地域に根ざした特色ある教育を行うことができた。また、郷土資源を活用したデジタル教材を今後増やしていく必要がある。				統合	
学校教育課	事業費(千円)												2,513

1-07-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
姉妹都市子ども大使交流事業	小中学生から継続して姉妹都市である東広島市と友好親善を深めるとともに、学習効果を遺流してふるさと意識を高めることにより、両市の相互理解と連携意識を育み、また、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列することにより、平和を尊ぶ心を育て、児童生徒を始め広く市民に浸透していくことに寄与する。	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列	児童生徒を東広島市に派遣 東広島市児童生徒の受入れ 交流校訪問(児童生徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への参列	教育の一環として、姉妹都市の歴史・文化を学ぶことや学校間の交流。また、平和の大切さを学ぶ。			交流事業を継続することによりふるさと意識の高揚を図るとともに、平和の重要性を認識させ、大使が全校に広める必要がある。					小中学生合同の子ども大使を編成 児童生徒を東広島市に派遣、東広島市生徒の受入れ、交流校訪問(生徒間交流)の実施、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参列、ひろしま子ども平和の集いに参加
					評価指標 子ども大使派遣、受入児童生徒数								
					平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 A						
市計画<300>	継続	継続	継続	継続	小中学生を子ども大使として東広島市、広島市に派遣し、姉妹都市交流、実感をもった平和教育を行った。			小中学生合同の子ども大使とし、大使としての目標である平和の重要性、ふるさと意識の醸成を図り、体験したことを全校に広げる活動の拡大、充実が図られた。				継続	
教育総務課	事業費(千円)	3,274	3,302	3,302									2,861

政策 2 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策 8 開かれた学校づくりの推進

施策 9 教育環境の整備

【施策 8 開かれた学校づくりの推進】

- 1 学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。
- 2 家庭や地域の教育的ニーズを把握するとともに、学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、情報の共有化を図ります。
- 3 学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)の取組など、地域の方々の教育活動への参加や地域への学校資源の提供により、学校と地域の双方向の連携を推進します。
- 4 子どもたちにとって、より豊かで有意義な土曜日を実現する「土曜授業」を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
2-08-001	学校評議員等 運営支援事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成26年度実績
	地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に関して学校との意見交換を行う。また学校関係者評価委員を委嘱し、各学校が教育活動や学校運営等について自己評価した結果について、評価をしてもらうなど、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動の展開を図る。	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催 学校運営協議会の実施の推進を検討する。	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催 学校運営協議会の設立準備委員会を設立する。	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催 学校運営協議会に一部移行する。	学校から保護者や地域への情報発信の充実と、保護者、地域要望の教育活動への反映による信頼される学校づくりの推進。				保護者や地域からの意見、要望を反映することが必要である。 保護者や地域から信頼され、期待に応える教育を実現するための学校経営を進める必要がある。				学校評議員及び学校関係者評価委員による全体会議を開催し、保護者や地域の意見を学校運営に反映した。
					評価指標 会議開催回数								
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価		A			
市計画<215>	継続	継続	継続	継続	各学校で学校評議員会、学校関係者委員会を開催し、委員との意見交換や、自己評価結果についての評価を行った。			各学校で委員に学校運営の方針や現状について理解をしてもらうとともに、委員からの要望や意見交換等を学校運営等に反映している。また学校関係者評価委員に学校経営や学習指導などの自己評価した結果が適切な評価であるかを評価してもらうとともに、改善を進めていく上での助言をいただくなど、も学校と家庭や地域が連携した学校運営を進めていくことができた。					継続
学校教育課	事業費(千円)	276	207	207									276
2-08-002	コミュニティ・ スクール推進 事業 <旧事業名> コミュニティ・ スクールの導入 促進に関する 調査研究事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
	地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを進めるため、西部地区のコミュニティ・スクールを継続するとともに、他中学校区での導入を検討する。	学校運営協議会議の運営 コミュニティ・スクール研究会の開催 及び研修費 他中学校区への導入の検討	学校運営協議会議費(委員報酬・会議消耗品) コミュニティ・スクール研究会及び研修 他中学校区への導入の検討	学校運営協議会議費(委員報酬・会議消耗品) コミュニティ・スクール研究会及び研修 他中学校区への導入の検討	開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。				学校教育と地域人材をつなぐ拠点となる事が必要。 コミュニティ・スクールを通じ、学力や人間性を育成する。				西部コミュニティ・スクール運営委員会の開催 全国コミュニティ・スクール研究会などへの参加
					評価指標 会議開催回数								
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価		A			
市計画<353>	継続	拡大	継続	継続	西部地区にコミュニティ・スクール運営委員会を設置し、学校、家庭、地域との連携を深めるあり方について検討を行った。			西部地区の特色を生かしたコミュニティ・スクールの充実を目指し、先進地視察や運営委員会を開催し、検討した。					継続
学校教育課	事業費(千円)	524	934	837									394

【施策9 教育環境の整備】

- 1 研修機会の充実や適切な教職員評価を通して、教職員の資質の向上を図ります。
- 2 適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
- 3 老朽化学校施設の長寿命化や耐震化に取り組み、防災施設としての機能の充実を図るとともに、児童生徒数の増減に対応した学校施設の整備を推進します。
- 4 児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。
- 5 小中一貫教育等の新しい教育のあり方について検討を進めます。
- 6 家庭、地域と連携した学校支援地域本部の取組を推進します。
- 7 小・中・高等学校教育等への就学を支援します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	拡げる	改善する					平成27年度実績
学校支援地域本部事業	学校を地域全体で支える体制を整えていくため、学校支援地域本部を設置し、地域の住民等の参画による学校支援を推進する。	学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置	学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置	学校支援ボランティア運営経費の助成、授業補助員の配置	地域が学校を支援する仕組みを見直し、学校の負担を軽減するとともに、事業の効率性と有効性を高める。			学校と地域が一体となって教育力の向上を目指すことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地域のボランティア活動の活性化も助長する。				学校支援ボランティア活用事業及び授業補助員活用事業 各16校
					評価指標 取組み件数、ボランティア登録件数							
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A	
市計画<317>	継続	継続	継続	継続	地域で学校を支援する体制が定着してきている。			学校、地域ともに事業に対する理解が深まってきている。配分時間を精査し、より残時間の削減を行った。				継続
社会教育課	事業費(千円)	8,869	7,935	7,935								7,728

2-09-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
学校教育団体活動支援事業	教職員の資質向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため、教育関係団体で行う事業費の一部を支援する。	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	本市における学校教育を振興するため、事業成果を検証しながら継続的な支援を行う。			市内の教職員が一体となり、本市の教育振興についてさまざまな観点から継続的に研究、調査、研修等を行うことは必要である。				教育研究会に助成3,854千円 小中学校校長会に助成400千円 小中学校教頭会に助成300千円 進路指導連絡協議会に助成76千円
					評価指標 教職員の資質向上							
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A	
市計画<216>	継続	継続	継続	継続	各教育関係団体の活動を支援することにより、教育の振興が図られている。			各教育関係団体が、それぞれの立場で調査、研究、研修活動したその成果は、教職員の資質向上や学校経営の充実に活かされている。				継続
教育総務課	事業費(千円)	4,780	4,703	4,703								4,630

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する						平成27年度実績	
私立学校教育 振興事業	教育環境の充実を図るため、市内に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援する。	市内に開校している札幌日大高校に対する助成	市内に開校している札幌日大高校に対する助成	市内に開校している札幌日大高校に対する助成	市内に開校している、札幌日大高校に対し補助金を交付する。				私学教育の振興、私立高校に通学している保護者の負担軽減のため、教材教具費等への支援を行うことは必要である。					日大高校に補助金を助成し、私学の振興と、保護者の負担軽減に寄与した。
					評価指標			補助金の活用状況						
					平成27年度の評価			A					A	
市計画<309>	継続	継続	継続	継続	札幌日大高校の特色ある教育活動の振興に寄与した。			札幌日大高校の特色ある教育活動に寄与するとともに保護者の負担軽減が図られたが、より特色をもった教育が図られるよう支援の拡大が必要である。					継続	
教育総務課	事業費(千円)	1,500	1,371	1,371									1,350	

2-09-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
理科教材等整備事業	理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。(各校2年に1回)	各小中学校に理科教材等の購入・更新 小学校1,694千円 中学校1,578千円	各小中学校に理科教材等の購入・更新	各小中学校に理科教材等の購入・更新	理科における観察、実験教育の質を向上するために必要な教材教具の整備。			理科教育においては、授業時数、指導内容が増加し、観察、実験を重視するものとなっていることから、実験機器などの多くの教材が必要であり、整備することは必要である。					小学校4校(東部、西部、大曲、西の里) 中学校3校(東部、大曲、陽香分校)に理科教材を整備
					評価指標			文部科学省の整備目標達成率					
					平成27年度の評価			A					A
市計画<217>	継続	継続	継続	継続	新学習指導要領に対応した理科教材を整備した。			理科教育の充実を図るため、文科省の整備時準を目標に補助金を活用した教材の整備を行った。今後も継続して整備を行う。					継続
教育総務課	事業費(千円)	3,272	3,272	3,272									3,006

2-09-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
学校事務機器整備事業	学校事務の効率化と学校経営の円滑化を図るため、必要となる事務機器を整備する。	大型事務機器保守、修繕、購入 小学校1,089千円 中学校 934千円	大型事務機器保守、修繕、購入	大型事務機器保守、修繕、購入	学校事務の効率化を図り、学校経営を円滑に実施するため、教育活動上必要な事務機器の保守、修繕、更新を行う。			校務事務の効率化、円滑化を図るため、老朽化した大型の事務機器を計画的に更新していく必要がある。					大型事務機器保守及び修繕
					評価指標			保守・整備状況					
					平成27年度の評価			A					A
市計画<218>	継続	継続	継続	継続	適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。			適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。					見直し
教育総務課	事業費(千円)	2,023	3,726	3,726									745

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-006	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
児童生徒の通学費支援事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童・生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を助成する。	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成 小学校2,342千円 中学校463千円	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成	遠距離通学に要する経費を支援し、平等に教育を受ける機会を確保。				遠距離通学に要する経費の経済的負担の軽減を図ることが必要である。					対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援
市計画<220>	継続	継続	継続	継続	評価指標 支援件数			平成27年度の評価 A					継続	
学校教育課	事業費(千円)	2,805	3,153	3,153	申請のあった遠距離児童生徒の保護者に通学費の一部を支援した。			通学費の一部を援助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られている。					2,569	

2-09-007	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
要保護・準要保護児童生徒援助事業	生活保護世帯(要保護)や経済的困窮世帯(準要保護)の児童・生徒に対し、就学に必要な経済的な援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。	学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 生活扶助の基準額の見直しの影響がでないよう対応する 小学校60,983千円 中学校64,173千円	学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助	学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助	就学に必要な学用品費等を援助することによる平等に教育を受ける機会を確保と保護者の経済的負担の軽減。				経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。					学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 平成26年度からPTA会費・生徒会費・部活動費を援助開始 小学校690名 中学校404名(H28.2末現在)
市計画<221>	継続	見直し	継続	継続	評価指標 支援件数			平成27年度の評価 A					継続	
学校教育課	事業費(千円)	125,156	124,800	121,747	義務教育を受ける上で必要となる経費について、援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。			保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。					125,160	

2-09-008	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
学校施設管理機器整備事業	良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 小学校587千円 中学校587千円	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	児童生徒の学習環境を良好かつ適切に保持・管理するため、管理機器の日常的な保守、管理。				教育的な視点から学校施設の環境整備は重要であり、効率的に実現するため、適切な管理機器の保守管理や計画的に更新を行うことは必要である。学校業務主事が効率的に業務を行うための学校環境整備も重要である。					草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機のメンテナンスを実施
市計画<222>	継続	継続	継続	継続	評価指標 保守・整備状況			平成27年度の評価 B					見直し	
教育総務課	事業費(千円)	1,174	2,103	2,103	良好な教育環境の整備を実施することができたが、今後、耐用年数の経過した草刈機の更新や除雪機の購入を計画的に実施していく必要がある。			草刈機、除雪機の維持管理、修繕を行うことで良好な教育環境を整備できたが、今後、耐用年数の経過した草刈機の更新や除雪機の購入を計画的に実施していく必要がある。					331	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-009	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
教師用指導書等整備事業	教員に指導書及び教科書を配布し、指導方法の工夫改善及び学力の向上を図る。	平成27年度から使用している小学校後期分(多学年用)及び平成28年度から使用する中学校後期分の指導書、教師用教科書の配布	平成28年度から使用している中学校多学年使用の指導書、教科書等の配布	平成31年度から使用する小学校教科用図書(前期分)の指導書等の配布	使用する教科書の改訂に伴い、各学校へ必要となる指導書等の配布。							平成27年度から使用する小学校の教科用図書にかかる教師用指導書及び教科書の整備を行った。 平成28年度から使用する中学校教科用図書(前期分)等の購入
市計画<229>	継続	継続	継続	継続	評価指標 配布実績			平成27年度の評価			A	継続
学校教育課	事業費(千円)	1,101	1,625	9,427	小中学校教員が使用する教科書及び指導書を補充分配した。			配付にあたっては、学校規模、教員配置等を精査し、配付するとともに、指導方法の工夫・改善が図られた。			12,604	

2-09-010	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
学校放送設備整備事業	教育活動の充実を図るため、老朽化した放送、視聴覚設備を時代に合った機器に整備する。	学校放送設備の更新(北の台小)	学校放送設備の更新	学校放送設備の更新	児童生徒の学習意欲の向上、教育の質の向上を図るため、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図る。							学校放送設備の更新(西の里小)
市計画<231>	継続	継続	継続	継続	評価指標 デジタル放送実施、更新整備校数			平成27年度の評価				継続
教育総務課	事業費(千円)	9,990	20,000	20,000	放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図った。			放送設備の老朽化委に伴い、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新が行われた。			9,612	

2-09-011	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
高等学校等入学準備金支給事業	市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。	入学準備金の支給139名	入学準備金の支給130名	入学準備金の支給130名	高等学校等へ入学する生徒の入学時に必要となる経費の一部を支援することによる保護者の経済的負担の軽減。							入学準備金の支給89名
市計画<232>	継続	継続	継続	継続	評価指標 支援件数			平成27年度の評価			A	継続
学校教育課	事業費(千円)	2,780	2,600	2,600	生活困窮世帯で高等学校等へ入学した生徒へ2万円の準備金を支給し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。			保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。			1,780	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-012	奨学金支給事業	経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。道の高校生等奨学給付金制度との重複支給の可否について検討を行う。	平成28年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名	平成29年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給(90名)	平成30年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給(90名)	めざす 高等学校等の就学に必要な学資等の一部として奨学金を支給することによる保護者への経済的負担の軽減。	続ける	点検する						平成27年度実績 選考委員会を開催し、90名を選考し、支給を行った。(117名出願)
						評価指標 奨学金支給人数/申請者人数								
						平成27年度の評価 A							平成27年度の評価 A	
市計画<233>	継続	見直し	継続	継続										継続
学校教育課	事業費(千円)	5,400	5,400	5,400										5,400

2-09-013	小中一貫教育推進事業 【新規】	子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う様々な教育課題に対応していくため、小中9年間で「連続した学び」を保障する一貫教育の推進。 【平成27年度繰越明許費】	平成28年度 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催 先進地視察 教育講演会の開催 中学校区での教育を語る会の開催	平成29年度 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催 教育講演会の開催 中学校区での教育を語る会の開催	平成30年度 小中一貫教育推進検討準備委員会の開催 中学校区での教育を語る会の開催 小中一貫教育の実施	めざす 検討準備委員会開催、教育講演会開催等を実施し、小中一貫教育の理解を得る。	続ける	点検する						平成27年度実績 /
						評価指標 協議会への参加回数								
						平成27年度の評価 /							平成27年度の評価 /	
政策経費	新規	新規	継続	継続										
学校教育課	事業費(千円)	<942>	500	100										

2-09-014	学校施設空気環境測定事業	シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空気中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。	平成28年度 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施 小学校 383千円 中学校 290千円	平成29年度 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施	平成30年度 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施	めざす 「学校環境衛生基準」に基づいた児童生徒の健康及び教育環境の衛生を適切に保持・管理する。	続ける	点検する						平成27年度実績 各小中学校3教室程度において、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空気中濃度測定の実施(8月)
						評価指標 測定実施状況								
						平成27年度の評価 A							平成27年度の評価 A	
市計画<240>	継続	継続	継続	継続										継続
教育総務課	事業費(千円)	673	686	686										522

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-018	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績			
広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	H27事業終了			良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						防音機能復旧工事		
					評価指標 進捗率											
					平成27年度の評価			A		平成27年度の評価					A	
					良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新するための工事を行った。					良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新するための工事を行った。					継続	
市計画<238>	継続	終了													継続	
教育総務課	事業費(千円)														<70,254>	

2-09-019	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績		
東部中学校校舎大規模改造事業	建築後26年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。		大規模改造工事その1 工事監理その1	大規模改造工事その2 工事監理その2	良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行う必要がある。						/	
					評価指標 進捗率										
					平成27年度の評価					平成27年度の評価					
市計画<257>	継続		継続	継続											継続
教育総務課	事業費(千円)		279,200	186,300											

2-09-020	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績		
大曲東小学校講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	実施設計委託	防音機能復旧工事 工事監理	H29事業終了	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						/	
					評価指標 進捗率										
					平成27年度の評価					平成27年度の評価					
市計画<276>	継続	継続	継続	終了											継続
教育総務課	事業費(千円)	1,050	33,820												

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-021	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
東部中学校講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	防音機能復旧工事 工事監理	H28事業終了		良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						実施設計委託
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
					A			A						
					良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新するための実施設計を行った。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新するための実施設計を行った。					継続	
市計画<369>	継続	継続	終了										993	
教育総務課	事業費(千円)	38,780												

2-09-022	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
大曲中学校北校舎棟大規模改造事業	建築後42年以上が経過し、老朽化が顕著なため、北校舎棟の大規模改造工事を実施する。	H27事業終了			良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事を行う必要がある。						大規模改造工事
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
					A			A						
					良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行った。			良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行った。					継続	
市計画<370>	継続	終了											163,239	
教育総務課	事業費(千円)													

2-09-023	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
学校施設非構造部材耐震化事業	屋内体育館において、大規模改造工事の対象とならない小中学校8校(東部小、西部小、大曲小、西の里小、双葉小、緑ヶ丘小、西部中、広葉中の8校)について、目視点検等の結果を踏まえて天井等落下防止対策等(吊り天井、照明器具、バスケットゴール等)を行う。	事業を平成31年度まで先送りとする。			良好な教育環境維持するための屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る必要がある。						
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
市計画<360>	継続	見直し											継続	
教育総務課	事業費(千円)													

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-024	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
大曲中学校 屋体大規模改 造・非構造部 材耐震化事業	建築後29年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。	大規模改造工事 工事監理	H28事業終了		良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。						非構造部材耐震化 工事
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			A					A	
					良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を行った。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を図るための実施設計を行った。						
市計画<361>	継続	継続	終了					平成27年度の評価					継続	
教育総務課	事業費(千円)	<104,900>											61,859	

2-09-025	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
西の里中学校 屋体大規模改 造・非構造部 材耐震化事業	建築後28年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。	大規模改造工事 工事監理	H28事業終了		良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。						非構造部材耐震化 工事
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			A					A	
					良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を行った。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材耐震化工事を図るための実施設計を行った。						
市計画<379>	継続	継続	終了					平成27年度の評価					継続	
教育総務課	事業費(千円)	<112,300>											15,985	

2-09-026	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
大曲東小学校 屋体大規模改 造・非構造部 材耐震化事業	建築後24年が経過し、老朽化が顕著なため、屋体の大規模改造工事及び非構造部材耐震化工事を実施する。 H27繰越明許費<61,470>	(H28当初) 大規模改造工事 工事監理 (H27繰越明許 費) 非構造部材耐震化工 事 工事監理	H28事業終了		良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。						非構造部材耐震化 工事
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
市計画<380>	継続	継続	終了					平成27年度の評価					継続	
教育総務課	事業費(千円)	128,190												

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-027	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
東部中学校屋 体大規模改 造・非構造部 材耐震化事業	建築後26年が経過し、老 朽化が顕著なため、屋体の 大規模改造工事及び非構造 部材耐震化工事を実施す る。 H27繰越明許費< 83,880>	(H28当初) 大規模改造工事 工事監理 (H27繰越明許 費) 非構造部材耐震化工 事 工事監理	H28事業終了		良好な教育環境を維持するた めの屋内体育館の大規模改造及び 非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するた め、屋内体育館の大 規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要があ る。					平成27年度実績
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<381>	継続	継続	終了										継続
教育総務課	事業費(千円)	169,800											

2-09-028	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
西の里中学校 校舎防音機能 復旧事業	平成8年度に更新した温度 保持換気設備機器類の再更 新を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境を維持するた めの設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するた め、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。					平成27年度実績
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<363>	継続			見直し									継続
教育総務課	事業費(千円)			1,310									

2-09-029	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
西の里小学校 校舎防音機能 復旧事業	平成6年度に更新した温度 保持換気設備機器類の再更 新を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境を維持するた めの設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するた め、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。					平成27年度実績
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<364>	継続			見直し									継続
教育総務課	事業費(千円)			1,230									

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-030	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
小中学校周辺 環境整備事業	市内小中学校敷地内駐車場 舗装やグレーチング等の外 構工事、屋外物置などの付 属建築物及び屋外施設(テ ニスコート、フェンス、防球ネット 等)更新。	小学校遊具新設(4 校)	小学校遊具新設(4 校) 駐車場等周辺整備 グランド・散水栓整備 屋外物置の更新	駐車場等周辺整備 グランド・散水栓整備 屋外物置の更新	良好な教育環境維持するための 小中学校周辺環境整備。							良好な教育環境を維持するため、小中学校周辺環 境整備を行う必要がある。	小学校遊具修繕 屋外物置設置工事
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A		
					良好な教育環境を維持するた め、小学校遊具修繕及び屋外物 置の設置工事を行った。			良好な教育環境を維持するため、小学校遊具修繕及 び屋外物置の設置工事を行った。					
市計画<375>	継続	継続	継続	継続								継続	
教育総務課	事業費(千円)	6,102	12,567	6,465								7,776	

2-09-031	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
大曲東小学校 校舎大規模改 造事業 [新規]	建築後24年以上が経過 し、老朽化が顕著なため、 校舎棟の大規模改造工事を 実施する。			実施設計委託	良好な教育環境維持するための 校舎大規模改造工事。							良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造 工事を行う必要がある。	
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
					良好な教育環境を維持するた め、校舎大規模改造工事を 行った。			良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工 事を行った。					
市計画<338>	新規			新規									
教育総務課	事業費(千円)			9,300									

2-09-032	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
北の台小学校 講堂防音機能 復旧事業 [新規]	温度保持換気設備機器等 (暖房機、空調機、送風機 等)の老朽化により、本来 の機能が低下し、良好な教 育環境が阻害されるため、 設備機器を新機種に更新し て防音機能を復旧する。		実施設計委託	防音機能復旧工事 工事監理	良好な教育環境を維持するた めの設備機器の更新。							良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。	
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
					良好な教育環境を維持するた め、設備機器を新機種に更 新した。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設 備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する 必要がある。					
市計画<362>	新規		新規	継続									
教育総務課	事業費(千円)		1,090	24,400									

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

2-09-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
小学校管理経費 (小学校管理経費)	施設維持管理用 修繕料・光熱水費・燃料 費・手数料・委託料・借上 料ほか	施設の維持管理 経常分88,494千円 臨時分 36千円 管繕 0千円	施設の維持管理	施設の維持管理	学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。			学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。				施設の維持管理経費
					評価指標							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に 通達し、効果を上げている。						継続	
教育総務課	事業費(千円)	88,530	88,530	88,530	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図られた。						117,188	

2-09-103	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
中学校管理経費 (中学校管理経費)	施設維持管理用 修繕料・光熱水費・燃料 費・手数料・委託料・借上 料ほか	施設の維持管理 経常分70,093千円 臨時分 3,261千円 管繕 4,040千円	施設の維持管理	施設の維持管理	学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。			学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。				施設の維持管理経費
					評価指標							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に 通達し、効果を上げている。						継続	
教育総務課	事業費(千円)	77,394	77,394	77,394	学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図られた。						80,960	

2-09-104	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	改善する					平成27年度実績
中学校教育振興経費(学校教育課分) (中学校教育振興経費)	平成24年度から中学校の音楽科で必修となっている和楽器指導に必要な楽器(箏)を購入する。	和楽器(箏)の購入(40面)	事業終了		新たに指導内容として導入される中学校和楽器の指導に必要な楽器(箏)を整備する。			新たに中学校の授業に導入される和楽器の指導を行うための備品整備は必要である。教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指導者など地域の人材による協力が必要である。				和楽器(箏)の借上げ164面を行い、中学校授業で効果的に使用した。
					評価指標							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	終了		中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げ						継続	
学校教育課	事業費(千円)	2,884			中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げし、円滑に指導が行なわれている。						550	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
2-09-105 奨学生選考委員会 (教育振興経費)	奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。 選考委員 7名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 奨学生選考委員会の開催(4月)
					奨学生を選考するため、選考委員会に奨学生の選考について諮問し、答申をもらう。			選考にあたり、客観性、透明性を確保するため、教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議は必要である。					
					評価指標 開催回数								
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A			
		経常経費	継続	継続	継続	継続	選考委員 への諮問			教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議により、客観性、透明性が図られた選考が図られている。			
学校教育課	事業費(千円)	28	28	28	成果指標 開催回数								28
2-09-106 北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 (教育振興経費)	通学区域を設定及び変更するため、通学区域審議会を開催する。 審議会委員 12名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 通学区域の設定及び変更無い為、開催無し
					通学区域を設定及び変更するため、審議会に諮問し、答申をもらう。			通学区域の設定及び変更にあたり、客観性、透明性を確保するため、専門的な知識を有する者や関係者による審議は必要である。					
					評価指標 開催回数								
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A			
		経常経費	継続	継続	継続	継続	通学区域員議会への諮問案件がなかったため、審議会の開催せず			通学区域の変更等がなかったため、審議会を開催せず			
学校教育課	事業費(千円)	48	48	48									0

政策3 やさしく支えあう教育連携の推進

施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実

施策11 教育相談体制の充実

施策12 地域が支える健全育成活動の充実

【施策10 家庭の教育力向上への支援内容の充実】

- 1 あたたかな家庭づくりへの支援の充実を図ります。
- 2 PTAなどとの連携を図り、家庭の教育力向上に向けた支援を充実します。
- 3 家庭・学校・地域が一体となり、子どもたちの生活習慣を見直す取組を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
3-10-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する							平成27年度実績
北広島市PTA 連合会支援事 業	児童生徒の健全育成を進めるため、学校単位のPTAの情報交換を図るとともに、保護者を対象とした研修会等を実施するPTA連合会の活動を支援する。	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援	連携支援による活発な活動の継続			学校、地域、家庭、行政が協働し青少年の健全育成を進める。					PTA連合会へ補助金交付 市P連母親研究大会9月6日参加人数136名 市P連研究大会11月21日参加人数230名	
					評価指標 研修会参加人数			平成27年度の評価 A					A	
					連携支援を進め、活発な活動が展開された。			協働し青少年の健全育成を進めた。					継続	
市計画<255>	継続	継続	継続	継続				平成27年度の評価 A					継続	
学校教育課	事業費(千円)	325	325	325									325	
3-10-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する							平成27年度実績
家庭教育支援 事業	家庭の教育力向上のため、関係する団体などと連携し、家庭教育支援に関する実践活動・交流活動を行う。	実践活動の実施	実践活動の実施	実践活動の実施	家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。			各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。 学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。					子ども朝活事業及び家庭の教育力向上に関する内部研修の実施。家庭教育に関する印刷物(広報活動)の配布。	
					評価指標 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合			平成27年度の評価 A					A	
					家庭での生活習慣を見直す機会として子ども朝活事業を実施した。			昨年までのアンケートの結果から、長期休業中の生活習慣づくりを視点に置いた事業を実施した。					継続	
市計画<292>	継続	継続	継続	継続				平成27年度の評価 A					継続	
社会教育課	事業費(千円)	50	120	120									25	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
3-10-002-1	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する							平成27年度実績
家庭教育支援 事業 【拡大】	子どもたちの学力向上の基礎となる生活習慣づくりを進めるため、関係団体等との連携により、実践活動として「子ども朝活」事業を展開する。	子ども朝活の実施			家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。			各学校をはじめ、庁内の子育て担当部門等と連携し、事業を効果的に進めることが必要。 学校・家庭・地域が一体となって家庭教育力の向上を目指す。					/	
					評価指標 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合									
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
市計画<292>	拡大	拡大			/			/						
社会教育課	事業費(千円)	360												

【施策11 教育相談体制の充実】

- いじめや不登校の問題を早期に解消するため、スクールカウンセラー、臨床心理士など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
- 不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。
- 携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒や保護者に対して啓発を図るとともに、インターネット上などでの新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害や生活習慣の乱れを防ぐため、
- いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期解決の取組を強化します。
- 青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などとの連携を強化します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

3-11-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
不登校いじめ対策・教育相談事業	不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を支援するため、保護者や学校、関係機関と連携して、ひきこもりや不登校の解消と未然防止を図る。問題の早期解決を図るため、児童生徒及びその保護者を対象に面談や家庭訪問による相談支援を行う。	適応指導教室「みらい塾」の運営 子どもSC相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施 NPOの活用 いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施	適応指導教室「みらい塾」の運営 子どもSC相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施 NPOの活用 いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施	適応指導教室「みらい塾」の運営 子どもSC相談員(臨床心理士)、教育相談員等による相談の実施 NPOの活用 いじめ等問題対策委員会の開催や研修会等の実施	相談、支援を継続し、個々の状況に応じた適切な対応を進める。不登校など増加傾向にある、問題を抱える家庭に対して、迅速に対応できる支援体制の充実			複雑多様化する要因に対応できる支援体制 早期対応、早期解消を進めることができる体制の確保 学校、関係機関との連携体制						適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 子どもSC相談員、教育相談員、訪問相談員による相談の実施 いじめ等問題対策委員会の開催 研修会の開催
市計画<249>	継続	継続	継続	継続	評価指標 不登校児童生徒の割合と適応指導教室「みらい塾」通級児童生徒数			平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A			
学校教育課	事業費(千円)	12,944	13,360	13,255	個々の状況に応じた、相談、指導支援を進め問題の解消を図った。			学校、関係機関と連携を図り、スクールカウンセラー、子どもSC相談員など専門知識を有する人材を積極的に活用した。					継続	
													12,380	

3-11-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
青少年健全育成啓発事業 【統合】	「地域の子どもは地域で育てる活動」を推進するため、学校、PTA、自治会、関係団体と連携し、地域に密着した青少年の健全育成活動の推進と健全育成の啓発を進める。	青少年健全育成大会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行 【青少年健全育成事業に統合】			青少年をとりまく環境の変化に対応した啓発活動を進める。			学校、保護者、地域が連携し育成活動を推進していくための意識向上。						青少年健全育成大会の開催(12月12日 参加人数81人) 子どもサポートセンターだより広報誌「きずな」の発行(年4回)
市計画<311>	継続	統合			評価指標 委員会の開催回数			平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A			
学校教育課	事業費(千円)				青少年健全育成大会の開催。子どもサポートセンターだより広報誌「きずな」の発行など啓発活動を進めた。			地域全体の意識の向上を図るため、学校、PTA、地域、関係機関の協力により青少年健全育成大会を開催した。広報誌「きずな」を発行し保護者や地域に啓発を進めた。					統合	
													306	

【施策12 地域が支える健全育成活動の充実】

- 1 子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。
- 2 各種大会や地域の安全・安心講座などを通じて全市的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。
- 3 児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができるよう「放課後子供教室」の充実を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
			平成27年度の評価			平成27年度の評価						
3-12-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
青少年健全育成事業 【事業名変更】	子どもたちの豊かな心を育むため、様々な体験活動、交流活動を推進し、青春メッセージ、アンビシャスフォーラム（子ども会議）を開催する。地域の子どもは地域で育てる活動を推進するため、学校・PTA、自治会、関係団体と連携し青少年健全育成大会を開催する。	青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催 健全育成連絡協議会への支援「きずな」の発行 青少年の体験交流事業の実施	青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催 健全育成連絡協議会への支援「きずな」の発行 青少年の体験交流事業の実施	青少年健全育成大会、アンビシャスフォーラム、青春メッセージの開催 健全育成連絡協議会への支援「きずな」の発行 青少年の体験交流事業の実施	様々な体験・交流事業へ参加することにより、子どもたちの豊かな心を育成する。			学校、保護者、地域と連携した事業の開催				青春メッセージ（11月21日開催参加人数230人）、子ども会議（12月12日開催中学生12人、参加人数81人）少年の主張石狩大会（7月29日中学生1名）
市計画<253>	継続	統合	継続	継続	評価指標 参加数			平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 A		継続
学校教育課	事業費(千円)	1,003	1,003	1,003	平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A		A		61
					青春メッセージ及び子ども会議を開催し、また、少年の主張石狩大会への参加を通して豊かな心の育成が図られた。			学校、保護者、健連協と連携し、保護者や地域の市民の参加のもと、青春メッセージと子ども会議を開催した。				
3-12-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
青少年健全育成連絡協議会支援事業 【統合】	学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもを守り育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、市内6地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。	青少年健全育成連絡協議会への支援 【青少年健全育成事業に統合】			継続した支援により、各地区の活発な活動が生まれる。			学校、地域との連携				青少年健全育成連絡協議会への支援
市計画<254>	継続	統合			評価指標 各地区交流活動等の開催数			平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 A		統合
学校教育課	事業費(千円)				平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A		A		450
					各地区で活発な活動が行われた。			各地区で学校と地域が連携して交流事業、研修会等が行われた。				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

3-12-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績		
青少年安全対策事業	問題行動等の未然防止や対応のため、関係機関や地域と連携を図り、各種活動を協働して行い、青少年の非行防止を推進する。子どもたちの安全確保のため、スクールガードリーダーによる学校施設、通学路等の安全確認及び学校への巡回指導を実施する。通学路の安全確保を図るため、通学路安全指導員を配置する。ネットトラブルから子どもたちを守るため、市内小中学校14校においてネットパトロールを行なう。	専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認 通学路安全指導員による団地内の安全確保 小中学校14校でのネットパトロール環境の整備	専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認 通学路安全指導員による団地内の安全確保 小中学校でのネットパトロールの実施	専任指導員による補導、巡視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認 通学路安全指導員による団地内の安全確保 小中学校でのネットパトロールの実施	地域の見守り活動と連携し、子どもたちの安全確保を進めて行く。			情報収集と迅速な情報提供 関係機関、地域との連携						専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置。不審者情報のメール配信（配信件数10件）	
					評価指標			不審者発生件数、問題行動の件数							
					平成27年度の評価			A					A		
					地域の協力により、子どもたちの安全確保が図られた。			迅速な不審者情報の発信や、学校等への安全指導により子どもたちの安全確保が図られた。ネットパトロールによる情報収集と迅速な児童生徒への指導が図られた。							
市計画<256>	継続	継続	継続	継続											継続
学校教育課	事業費(千円)	8,249	8,944	8,944											8,804

3-12-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績		
成人式開催事業	成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるよう、新成人を祝う成人式を実施する。	成人式の開催	成人式の開催	成人式の開催	若者のふるさと意識を醸成するという視点も重要。アトラクションの内容については、時代の流れに対応し改善していく。			地域づくり、まちづくりに貢献できる人材の育成は必要であり、より多くの若者が集うよう事業内容を改善していく。						成人式の開催 対象者581名 参加者425名 参加率73.1%	
					評価指標			参加率(参加者/対象者)							
					平成27年度の評価			A					A		
					社会人としての自覚を促し、ふるさとへの思いを育てよう事業を行った。			高い参加率の事業であり、新成人のニーズにあった内容で実施した。							
市計画<251>	継続	継続	継続	継続											継続
社会教育課	事業費(千円)	683	696	696											587

3-12-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する						平成27年度実績		
放課後子供教室事業 [拡大]	放課後に小学校の余裕教室等を活用して、児童の活動拠点を設け、学習や体育活動等を行い子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。平成28年度から新たな小学校で放課後子供教室を実施	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催 新たな小学校で放課後子供教室を実施	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催	コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置し、週1回開催	子どもの居場所づくり、子どもへの学習習慣等の定着			児童家庭課、学童クラブとの連携、地域の人材の活用						コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターを配置して開催。年間延べ参加人数1,551人。	
					評価指標			参加児童数							
					平成27年度の評価			A					A		
					放課後子ども教室を通じて、児童の居場所づくりと学習支援の活動を進めた。			学習活動(算数、国語)や体育活動を実施。平均で全学年約86人の児童が参加した。							
市計画<312>	継続	拡大	継続	継続											継続
学校教育課	事業費(千円)	1,696	1,666	1,666											1,274

政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策13 市民の学習活動への支援の充実

施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実

施策15 施設の充実による学習環境の整備

【施策13 市民の学習活動への支援内容の充実】

- 1 市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。
- 2 社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。
- 3 市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

4-13-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する					平成27年度実績
生涯学習市民活動団体支援事業	学習機会の提供及び生涯学習に取り組む団体の育成を図るため、市民団体が企画実施する生涯学習に関する事業に支援を行う。	市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成	市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成	市民団体が企画する講演会や体験事業、スポーツ大会、鑑賞会などへの助成	市民参加を促す事業として、継続的に支援を行っていくため、市民ニーズを捉え、事業内容の改善を行っていく。	生涯学習に関する事業を自ら企画・実施し、広く市民に発表する取組みを支援することは、生涯学習の振興並びにまちづくりの市民参加につながる。					平成27年度実績 助成事業数5件	
					評価指標		支援団体数					
					平成27年度の評価		A	平成27年度の評価			A	
市計画<258>	継続	継続	継続	継続	市民の主体的な活動を効果的に推進するため、支援内容を改善した。		市民活動が効果的に行われるよう、事業への適切な支援を継続する。					継続
社会教育課	事業費(千円)	1,500	1,500	1,500								1,186

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					

4-13-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	拓げる	改善する						平成27年度実績
元気フェスティバル連携事業	市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民団体の交流や学習成果を生かす場として、元気フェスティバルを開催する。	元気フェスティバルの開催	元気フェスティバルの開催	元気フェスティバルの開催	生涯学習をテーマに市民主体で創造し、交流する事業は少なく、さらなる拡充を目指す。			生涯学習活動の発表の場、異分野の交流の場として重要。 市民が主体となって取り組む実行委員会形式で実施。					元気フェスティバルの開催 参加 54団体 参加者3,000名
					評価指標 来場者数								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
					市民の主体的な活動を助長し、活動成果の発表機会となっている。			実行委員会で、内容を協議することから、主体的な取組みとなっている。					
市計画<259>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	675	675	675									672

4-13-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	拓げる	改善する						平成27年度実績
生涯学習振興会支援事業	生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。	生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。			地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織					生涯学習振興会事務職員人件費と事業費の助成。生涯学習推進アドバイザーの配置
					評価指標 事業数、事業参加者数								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
					学習機会の提供と地域コミュニティの醸成に寄与している。交付金算定の方法を見直し、振興会の了承を得た。			各地域の特色を生かした活動が行われており、地域コミュニティの醸成に寄与している。振興会との協力体制を強化した。					
市計画<313>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	18,749	18,307	18,307									18,136

4-13-003-1	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	拓げる	改善する						平成27年度実績
生涯学習振興会支援事業 [拡大]	生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、生涯学習振興会を支援する。		生涯学習振興会への助成	生涯学習振興会への助成	市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。未設置地域へ設置し、本事業を拡大する。			地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織					/
					評価指標 事業数、事業参加者数								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<313>	拡大		拡大	継続									拡大
社会教育課	事業費(千円)		5,521	5,521									

【施策14 地域や世代を見据えた学習機会の充実】

- 1 各世代別での学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
- 2 社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
- 3 市民の多様な学習ニーズへの対応や、主体的な学習活動を支援するための情報提供に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
- 4 市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどによる社会教育施設や公共施設の利用情報のネットワーク化を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

4-14-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績	
国際交流事業	異文化への理解と国際感覚をもった人材を育てるため、国際交流協議会を支援する。	国際交流協議会への助成	国際交流協議会への助成	国際交流協議会への助成	カナダ・サスカトゥーン市との交流は継続。			豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。市民が主体となった事業展開が必要。						カナダ・サスカトゥーン市への訪問団派遣。(高校生12名)市長の表敬訪問。
					評価指標 事業参加者数									
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A						
市計画<323>	継続	見直し	継続	継続	カナダ・サスカトゥーン市に訪問団を派遣、25周年記念事業を実施した。			道都大学と連携した事業を実施、会員増などの組織強化を図った。						見直し
社会教育課	事業費(千円)	392	1,404	392									2,276	

4-14-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績	
フレンドリーセンター運営事業	障がい者が生涯学習活動を通じて、学び交流する場を提供する。	フレンドリーセンター事業の開催	フレンドリーセンター事業の開催	フレンドリーセンター事業の開催	障がい者と一緒に学び交流する本市独自の事業。会員の高齢化、施設の老朽化などの課題の検討が必要。			障がい者が地域社会に積極的に溶け込んでいくための環境づくり事業として重要。市民、各種団体、学校教員等の参加・協力を得て実施している。						太鼓教室、秋のスイーツ教室、サッカー教室、スキー教室、体操教室の開催
					評価指標 事業参加者数									
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A						
市計画<261>	継続	継続	継続	継続	事業内容の見直しを行い事業を実施、委託に向け関係団体と協議した。			「障がい児者を持つ親の会」などの意見を聴き事業を実施、市直営で行ってきた事業を市内団体に委託することについて了承を得た。						継続
社会教育課	事業費(千円)	802	992	992									728	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

4-14-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	整える	改善する						平成27年度実績
中央公民館活動推進事業	市民やサークルなどの相互交流の場を提供し、市民の生涯学習に対する理解と関心を深める。生涯学習振興会と地区公民館活動連携事業を実施。	公民館まつり等の開催 地区公民館活動連携事業の実施	公民館まつり等の開催 地区公民館活動連携事業の実施	公民館まつり等の開催 地区公民館活動連携事業の実施	市民の主体的な活動をさらに助長するため、生涯学習振興会との連携した取り組みを行う。	生涯にわたる学習環境の提供、世代間の交流の推進。 市民参加による事業の企画・運営。					公民館まつり、地区公民館活動連携事業の実施（7事業）		
					評価指標			事業参加者数					
					平成27年度の評価			B					B
					公民館まつりと子ども公民館まつりを統合して開催、地区公民館活動連携事業を実施した。			公民館まつりと子ども公民館まつりを統合することで、効率的な交流を図ることができた。					見直し
市計画<262>	継続	見直し	継続	継続						356			
社会教育課	事業費(千円)	347	355	355						356			

4-14-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
生涯学習支援情報システム整備事業	図書館情報システム・施設予約管理システムを活用し、図書館及び生涯学習の拠点施設が持つ学習機能を充実させる。	生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実	生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実	生涯学習支援システムの活用による学習機会の充実	図書館システムや施設予約システムを活用し、市民への安定した情報提供に努める。	学習情報の提供、施設利用の利便性向上。 庁内インフラを活用し、市内教育施設の管理を一元化しているため、緊密な連絡調整が必要である。					20施設に導入 図書館本館・地区分館、市内教育施設		
					評価指標			導入施設数					
					平成27年度の評価			A					B
					施設利用の利便性の向上など、十分に機能している。			施設予約システムの所管課との連携が課題。					継続
市計画<314>	継続	継続	継続	継続						11,642			
文化課	事業費(千円)	11,379	11,390	11,390						11,642			

4-14-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	点検する						平成27年度実績
フレンドリーセンター施設解体工事事業	建築後55年が経過し、老朽化が進んでいることから、施設の解体を行う。	公共施設等総合管理計画で検討	解体に向けた検討	解体に向けた検討	施設解体のための実施設計及び工事の実施。	施設の解体について、関係者との協議を行うなどの調整を行う。							
					評価指標			進捗率					
					平成27年度の評価								
市計画<356>	継続												
社会教育課	事業費(千円)	0	0	0									

【施策15 施設の充実による学習環境の整備】

- 生涯学習活動の推進や社会教育の充実に向け、市民がより利用しやすい社会教育施設の運営を図ります。
- 市民の主体的な学習活動を支援するための学習環境を整備するとともに、中央公民館など既存施設の有効活用を図ります。
- 学習や研修の機会を提供する施設の計画的な整備を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
4-15-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	点検する							平成27年度実績
西の里公民館 改修事業	建築後39年が経過し、耐震化の必要があることから、今後の施設の総合的な利用を検討しながら、耐震改修工事を実施する。	公共施設等総合管理計画で検討	耐震改修工事に向けた検討	耐震改修工事に向けた検討	利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。			市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。高齢者や障がい者が利用しやすい施設への転換。						
					評価指標 進捗率									
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
市計画<352>	継続													
社会教育課	事業費(千円)	0	0	0										
4-15-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度										平成27年度実績
林間学園・レクリエーションの森整備事業	経年劣化によって腐食、破損しているアスレチック、管理棟、炉場、展望台等を計画的に改修を行う。	整備に向けた調査・検	整備に向けた調査・検	整備に向けた調査・検										
					評価指標 進捗率									
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
市計画<371>	継続													
企画課	事業費(千円)	0	0	0										

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

4-15-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	続ける	点検する					平成27年度実績							
林間学園・レクリエーションの森開放事業 (社会教育経費)	自然体験、憩いの場として林間学園・レクリエーションの森を開放する。	維持管理経費 経常 5,816千円 臨時 897千円			施設が老朽化しているため、点検を怠らない。			マチの中央に位置しながら、自然をそのまま生かしている本市のまちづくりの象徴的な施設。市民が自然に触れ合い、憩う場として貴重。					フィールドアスレチックの修繕、トイレ修繕、シャッター修繕等						
								評価指標 利用者数											
								平成27年度の評価			A			平成27年度の評価					A
経常経費	継続	継続	継続	継続	破損の状況に応じ、適切に修繕等を行った。			身近で自然と触れ合える施設として、安全・安心な利用に努めた。					継続						
社会教育課	事業費(千円)	5,940	6,713	6,713									6,630						

4-15-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績							
公民館管理事業 (公民館管理経費)	市民が利用しやすい施設となるよう中央及び西の里公民館を管理、運営する。	維持管理経費			施設が老朽化しているため、点検を怠らない。			市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。					中央・西の里公民館の維持管理						
								評価指標 団体利用登録団体数											
								平成27年度の評価			A			平成27年度の評価					A
経常経費	継続	継続	継続	継続	快適に利用できるよう、施設の維持管理を行い、リニューアルのあった中央公民館では備品の購入を行った。			中央公民館は大規模改修工事が終わり、5月よりリニューアルオープンした。安全で安心な利用に努めた。					継続						
社会教育課	事業費(千円)	20,159	33,374	33,374									34,112						

4-15-103	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績							
社会教育施設等草刈経費 (社会教育経費)	快適に利用できる施設となるよう社会教育施設等(駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森)の草刈りを行う。	草刈り(委託) 駅西口広場を文化課へ移管。	草刈り(委託)	草刈り(委託)	社会教育関係施設の環境整備に努める。			施設の環境整備に努める。					草刈りの実施						
								評価指標 草刈実施回数											
								平成27年度の評価			A			平成27年度の評価					A
経常経費	継続	継続	継続	継続	快適に利用できるよう、関係施設の草刈を行った。			施設の状況に応じた施工で実施した。					継続						
社会教育課	事業費(千円)	438	500	500									499						

政策5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策16 エコミュージアム構想の展開

施策17 文化財の保存と活用

【施策16 エコミュージアム構想の展開】

- 文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。
- 市民参加による郷土学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。
- エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。
- 重要な郷土資料の保全、住民活動の拠点、情報サービスの発信・提供、資料の展示、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
			平成27年度の評価			平成27年度の評価						
5-16-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する					平成27年度実績
エコミュージアム普及推進事業	市内各地に存在する自然遺産や文化遺産などを現地において、行政と市民の協働により、そのまま保存・育成・展示することを通して魅力ある地域づくり・まちづくりを推進する。また、郷土に関する学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供する。	エコミュージアム推進委員会の運営 常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	常設展示・特別展・企画展の実施 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	事業推進体制の拡大・充実が必要。			市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育てていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。				まちを好きになる市民大学 7期生：8人 卒業生：103人 OB会：61人 (H27総会時) バスツアー(4回) 参加者：43人 昆虫採集：4人
市計画<266>	継続	継続	継続	継続	評価指標	事業参加者数・知新の駅来館者利用者数						継続
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	4,064	5,777	5,777	平成27年度の評価	A		平成27年度の評価		A		
					まちを好きになる市民大学や地域遺産発見バスツアー等の継続的な実施により北広島市の魅力を提供・発信してきた。			まちを好きになる市民大学卒業生のOB会は、自主活動の他センター主催事業の支援など、広く団体活動を発信している。また、各種体験型の主催事業によりまちの魅力を今後も継続して発信する。				
5-16-001-1	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する					平成27年度実績
エコミュージアム普及推進事業 [拡大]	サテライトと地域遺産を結ぶ発見の小路を表示する説明板、案内標柱等の設置や所蔵整理等を実施する。	地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置 所蔵資料整理のための業務委託	地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置 所蔵資料整理のための業務委託	地域遺産を表示する説明板、案内標柱の設置 所蔵資料整理のための業務委託	サテライトと発見の小路を表示しさらに詳しく北広島のことを周知。			サテライトと発見の小路の周知方法の検討				
市計画<243>	拡大	拡大	継続	継続	評価指標	進捗率						
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	2,372	3,100	3,100	平成27年度の評価			平成27年度の評価				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
5-15-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する						平成27年度実績
旧島松駅通所 周辺整備事業	より多くの市民に観覧してもらい、駅通所を身近に感じ取ってもらうことによって、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅通所の周辺の隣地の整備を行う。	基本計画の策定関係者からの意見聴取	隣地の整備方針策定 周辺区域の整備方針 検討	周辺区域の整備方針 検討	隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。			駅通所は、歴史を正しく伝えるうえで国民の財産と成り得る史跡であり、国や地域の理解や協力を得て進める必要がある。					/
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<267> 企画課	継続 事業費(千円)	継続 0	継続 0	継続 0									

【施策17 文化財の保存と活用】

- 1 史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。
- 2 郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集・保存を進めます。また、市文化財の指定を行い保存します。
- 3 郷土文化の伝承に対する支援を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績		
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策			
					平成27年度の評価			平成27年度の評価							
5-17-001	郷土文化伝承支援事業	本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。	平成28年度 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	平成29年度 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	平成30年度 広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	めざす	続ける	点検する							平成27年度実績
						伝統芸能と呼ぶには歴史が浅いが、北広島の郷土芸能振興を目的に継続する。							郷土芸能は地域に根ざしたものであり、多くの市民による保存伝承活動が必要である。 郷土芸能の振興は、祭りや式典などでの演目等まちづくりへの貢献の一環としても大切な事業である。		北広島ふるさと太鼓保存会 会員：38人 広島音頭保存会 会員：60人
						評価指標	支援団体数								
						平成27年度の評価	A					平成27年度の評価	B		
						本市には伝統芸能と呼ばれるものは少ないが、確実に受け継がれていくことにより、評価できる伝統芸能に発展していく。							構成員の高齢化が進んでいることからや、活動機会の多様な郷土文化継承の視点から支援方策のあり方が課題となる。		継続
市計画<333>	継続	継続	継続	継続											継続
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	212	212	212											212
5-17-002	文化財保存・活用事業	本市の文化財や郷土資料を周知し、郷土に対する愛着とふるさと意識の高揚を図るため、国指定文化財と北広島市文化財保護審議会が指定する市指定文化財、郷土の自然や歴史を後世に伝えるために適切な保存と活用を行う。	平成28年度 旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	平成29年度 旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	平成30年度 旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	めざす	続ける	改善する							平成27年度実績
						遺産を後世に伝えていくためには、適切な保存・管理が必要だが、継続的な手当てと、計画的なメンテナンスが必要である。							生涯学習における学習環境整備として重要な課題である。 まちの遺産は、その地域の協力なしには保存されないものであり、理解と協力が必要。		旧島松駅通所開館 161日間(4/28～11/3)、入館者数：2,360人(総数：6,791人)、ラベアップ：351人 北広島市水稲赤毛種保存会への助成
						評価指標	旧島松駅通所入館者数								
						平成27年度の評価	A					平成27年度の評価	B		
						市民の郷土意識の高まりにより旧島松駅通所の来館者が増加している中、最小限の修繕及び環境整備を実施できた。							今後も文化財の適切な保存活用に努める一方、赤毛種の作付を複数の農家で実施することとした。また、文化財保護審議会による市指定文化財の調査を継続して進めた。		継続
市計画<268>	継続	継続	継続	継続											継続
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	6,524	5,924	5,924											5,920

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
5-17-003 旧島松駅通所 大規模改修事 業	補修工事から25年が経過し、老朽化が顕著なため、国指定史跡旧島松駅通所の大規模改修を実施する。	平成28年度 改修に向けた検討	平成29年度 保存整備計画の策定 耐震化に向けた予備 診断	平成30年度 基本計画	創る	拡げる	改善する							平成27年度実績
					未来に遺すべき文化財としての適切な保存方法による管理。			本市において貴重な観光資源として今後も安心安全に活用する。						
					評価指標 進歩率			平成27年度の評価						
市計画<385>	新規	新規	継続	継続	平成27年度の評価			平成27年度の評価						
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	214	2,500	20,000										

政策6 生涯にわたる読書活動の推進

施策18 図書館サービスの充実

施策19 子どもの読書活動推進

【施策18 図書館サービスの充実】

- 1 市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書館及び地区分館での図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
- 2 地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
- 3 図書館フィールドネットなどの市民との協働により、子どもから高齢者までの生涯を通じた読書活動の充実にめざします。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

6-18-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績		
図書館サービス提供事業	図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書館サービスを提供する。	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の活用	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の活用	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 公衆無線LAN「光ステーション」の活用	現状のサービス水準を維持し、市民要望に対する点検を怠らないこと。			生涯にわたる学習環境の充実にとって、図書館は重要な位置を占める。 窓口業務委託の継続						平成28年1月末現在 貸出冊数 423,691冊 予約・リクエスト受付数 約46,701件 予約達成率約95%	
市計画<269>	継続	継続	継続	継続	評価指標 予約貸出率(達成件数/年間リクエスト総数)			平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A	資料費・開館時間など近隣市と比較しても上位。利用率も道内トップクラスを維持している。	宅配ボランティアによる高齢者等図書宅配サービスやwebによる予約受付などサービスが安定。	継続	
文化課	事業費(千円)	20,847	22,458	22,458											20,876

6-18-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	続ける	改善する						平成27年度実績		
図書館フィールドネット連携事業	図書館のボランティア団体で構成する北広島市図書館フィールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。	北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	北広島市図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	市民参加による読書振興・図書館運営という点で稀有な活動。			視覚障がい者への朗読・点訳活動、破損した図書の修理などのサービスの充実に大きく貢献している。 読書まつり等の普及イベントを実施。						図書館フィールドネット運営委員会に助成 読書普及イベントで年間約10,000人の参加者	
市計画<270>	継続	継続	継続	継続	評価指標 参加者数			平成27年度の評価	A	平成27年度の評価	A	市民協働による図書館活動の基盤であり、継続性を持つものである。	図書館運営や読書振興など市民要望の反映やメンバーや世代の交代など、活動のさらなる活性化に向けた育成が必要。	継続	
文化課	事業費(千円)	1,500	1,500	1,500											1,500

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
6-18-101 図書館運営 (図書館運営 経費)	図書館の施設維持管理 移動図書館車の運行	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 平成28年1月末現在 年間開館日数 249日 本館入館者数 203,716人
		窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	窓口等業務委託 移動図書館車・小型 貨物自動車の経費 ほか	市民要望を最大限反映する施設 運営のために、新たな技術や手 法の導入に対し、点検を怠らな い。	生涯学習の拠点施設として育てる。 本館・分館ともに市民参加を十分に得て運営を行 う。							
					評価指標	利用者数							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A			
		経常経費	継続	継続	継続	継続	生涯学習の拠点施設として、市 民の意見を反映しつつ、利用し やすい運営が維持されている。					継続	
文化課	事業費(千円)	58,711	58,711	58,711						58,494			
6-18-102 図書館利用モ ニター (図書館運営 経費)	図書館サービスの水準を維 持し、迅速な利用者要望を 把握するため、匿名モニ ターによる対応チェックを 定期的に行う。	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 2名のモニターによ り12回実施
		2名のモニターによ り、年間12回実施	2名のモニターによ り、年間12回実施	2名のモニターによ り、年間12回実施	委託事業者との相互のチェック 機能として継続していく。	図書館運営に対する市民参加として重要な手法で ある。 協働によるまちの図書館づくりの一手法である。							
					評価指標	モニター回数							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A			
		経常経費	継続	継続	継続	継続	モニターの評価・意見を参考 に、常に業務を見直し、質の高 いサービスを提供。					継続	
文化課	事業費(千円)	27	27	27						27			
6-18-103 北広島市図書 館協議会 (図書館運営 経費)	図書館法に定められる外部 委員会として、図書館の運 営等について館長に意見を 述べるほか、教育委員会の 諮問に答える。委員10 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 1回実施
		年間2回を予定	年間2回を予定	年間2回を予定	図書館運営に対する市民意見の 反映に必需。運用の点検を怠ら ない。	図書館運営に対する市民参画の重要な手法であ る。							
					評価指標	開催回数							
					平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A			
		経常経費	継続	継続	継続	継続	今年度は2月に会議を実施。 協議会委員が図書館事業や研修会に参加するなど、 積極的な活動を行っている。					継続	
文化課	事業費(千円)	128	128	128						51			

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

6-18-104	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績	
読書環境整備 事業 (図書館運営 経費)	図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討	光ステーション増設ブックポスト用マットの購入	図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討	図書館運営にかかわる備品の購入、団地住民センター・西の里公民館の地区分室の拠点化に向けた検討	使用限界を超えた印刷機器等の更新など、点検を怠らないよう注意。							新たなコミュニティ施設の新設などの機会があれば、団地住民センター・西の里分館などの拡充を図る。	利用者カード、図書館用封筒の購入を実施
					評価指標	更新件数							
					平成27年度の評価	A				平成27年度の評価	B		
経常経費	継続	継続	継続	継続	開館からの備品も多く、経年による劣化も多くなっているため、更新を継続していく。			利用者の安心・安全な読書環境を維持するため、定期的な備品の点検、管理が必要である。					継続
文化課	事業費(千円)	397	397	397									506

【施策19 子どもの読書活動推進】

- 1 市民との協働を踏まえながら、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
- 2 学校図書館における蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園での絵本巡回事業「小豆(あずき)」の利用拡大を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

6-19-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する					平成27年度実績	
幼児読書活動 推進事業 (図書館運営 経費)	子どもの読書推進計画に基づき、就学前の幼児に身近で図書館に親しむ取組みとして、幼児絵本の巡回配置「小豆」を実施する。	幼児絵本180冊の補充。寄贈本で対応。実施園数を拡大。	幼児絵本180冊の補充 実施園数を拡大。	幼児絵本180冊の補充 実施園数を拡大。	小学校で行われている通称「豆次郎」の幼年版(「小豆」として計画。幼児の読書活動推進にとって、独自性の高い活動。							学校教育から幼児、乳幼児まで読書活動の推進を図ることは、生涯にわたる読書活動の推進にとって重要。 幼稚園・保育園との連携による。	4園で実施 広島幼稚園 わかば幼稚園 すみれ保育園 いちい保育園
					評価指標	実施園率							
					平成27年度の評価	A				平成27年度の評価	B		
経常経費	継続	継続	継続	継続	幼児の読書活動推進事業「小豆」は、4園で実施。			幼稚園・保育園との連携を密にして、未実施園についても拡大していくことが課題。					継続
文化課	事業費(千円)	0	20	20									0

政策 7 芸術文化活動の振興

施策 20 個性豊かな地域文化の振興

施策 21 市民等との連携による芸術文化活動の展開

【施策 20 個性豊かな地域文化の振興】

- 優れた芸術文化活動に対して表彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。
- 各種公演や講座、体験教室など、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
- 青少年が芸術文化に触れる機会の充実に向け、学校との積極的な連携を進めます。
- 芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。
- 芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
7-20-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
文化賞・スポーツ賞等表彰事業 【統合】	優秀な文化活動を行う市民（成人・青少年）及び団体や、スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者に対し、その功績を顕彰する。 《旧事業名》 文化賞等表彰事業【スポーツ賞等表彰事業と統合】	文化・スポーツ賞等表彰式の開催	文化・スポーツ賞等表彰式の開催	文化・スポーツ賞等表彰式の開催	芸術文化分野での顕彰事業として、市民の芸術文化活動に対する意欲を高めることから堅実性・継続性が重要となる。			芸術文化活動を通じた地域づくりや人材育成の視点に優れた文化活動を顕彰する。 生涯にわたり学び、その成果を活かした活動を支援することにつながる。					文化賞等表彰式の開催 文化賞2件、文化奨励賞1件、文青少年文化賞1件、青少年文化奨励賞4件
市計画<272> 文化課	継続 事業費(千円)	統合 631	継続 539	継続 539	評価指標 文化賞等表彰者数			平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 A			継続 0
					「文化の日」に表彰式を実施した。芸術文化に関する活動を概ね網羅した顕彰ができています。			受賞該当者が、適切に成果が認められ、公平な評価がなされることが必要である。					
7-20-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
文化団体活動支援事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	芸術文化活動がより活発化するよう主体的な団体活動を支援する。			生涯学習の視点から、市民の主体的な芸術文化活動団体の支援は重要な施策である。 団体支援を通じ芸術文化活動による地域づくりや人材の育成につなげる。 各種団体との協働により芸術文化の振興を目指す。					北広島市文化連盟及び音楽協会に助成
市計画<273> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 640	継続 640	継続 640	評価指標 支援団体数			平成27年度の評価 A		平成27年度の評価 A			継続 640
					団体の研修会や、演奏会などの自主事業の実施について、各団体が連携を図りながら実施している。			団体個々の成果発表の場として、主体的な発表機会を設けられており、芸術文化活動の振興に寄与している。					

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

7-20-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
市民文化祭奨励事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民の主体的な取り組みを支援する。助成内容の点検を怠らない。									市民総合文化祭及び、地区文化祭(4地区)に助成
					評価指標 市民総合文化祭参加人数 地区文化祭参加者総数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
					市民総合文化祭、各地区文化祭、各地域がそれぞれ特徴的な文化活動を発表するなど、定着している。学校との連携を進め、子どもたちの発表機会としても充実してきている。									
市計画<274>	継続	継続	継続	継続									継続	
文化課	事業費(千円)	650	650	650									650	

7-20-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	続ける	点検する						平成27年度実績	
文化施設修繕事業	文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	ガレリア・図書館屋上防水改修工事 練習室床修繕	文化施設共用部屋上防水改修、非常灯誘導灯改修	文化施設共用部屋上防水改修、非常灯誘導灯改修	建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。									屋上防水シート等改修工事
					評価指標 進捗率									
					平成27年度の評価 B			平成27年度の評価 B						
					閉館の伴わない改修内容において、緊急性の高い箇所から行っていく。									
市計画<278>	継続	継続	継続	継続									継続	
文化課	事業費(千円)	25,472	27,347	30,000									20,345	

7-20-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	続ける	点検する						平成27年度実績	
芸術文化ホール設備修繕事業	芸術文化ホール(客席、舞台、音響、照明設備等)の安全性や芸術文化振興のための機能維持を図るため、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	舞台吊物ワイヤー修繕	舞台吊物等、音響設備等修繕	舞台吊物等、音響設備等修繕	建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。									舞台照明設備修繕
					評価指標 進捗率									
					平成27年度の評価 B			平成27年度の評価 B						
					ホール内の設備について、更新・改修が必要となる箇所が増加してきており、順次対応が必要である。									
市計画<341>	継続	継続	継続	継続									継続	
文化課	事業費(千円)	13,000	12,540	18,500									9,380	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

7-20-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
文化施設維持管理 (文化施設維持管理経費)	芸術文化ホール・図書館の施設維持管理	設備管理業務委託 清掃業務委託 警備業務委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか 経常 33,229千円 臨時 31,684千円	設備管理業務委託 清掃業務委託 警備業務委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか	設備管理業務委託 清掃業務委託 警備業務委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費ほか	点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。			大規模な専門的施設であり、受託者等との連絡調整や点検を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。				設備管理業務委託 清掃業務委託 警備業務委託 設備保守点検委託 監視カメラ借上げ 光熱水費 ほか
					評価指標	-						
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価	A			
					受託者の適切な業務の執行により、適切な施設管理が行われている。			受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われている。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続
文化課	事業費(千円)	64,913	64,913	64,913								60,637

7-20-102	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
芸術文化ホール管理 (芸術文化ホール管理経費)	芸術文化ホールの設備維持管理	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費 ほか 経常 2,020千円 臨時 35,766千円	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費 ほか	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費 ほか	点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。			専門的施設・設備であり、受託者等との連絡調整を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。				舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費 ほか
					評価指標	-						
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価	A			
					受託者の適切な業務の執行により、適切な施設管理が行われている。			受託者の適切な業務の執行により施設管理が行われている。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続
文化課	事業費(千円)	37,786	37,786	37,786								35,522

7-20-103	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
北広島市芸術文化振興審議会 (芸術文化振興経費)	芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議する。委員6名	北広島市芸術文化振興審議会の開催 委員構成を変更	北広島市芸術文化振興審議会の開催	北広島市芸術文化振興審議会の開催	芸術文化の振興に対する市民意見の反映に必要。運営等の点検を怠らない。			芸術文化の振興に対する市民参画の重要な手法である。				年間2回開催
					評価指標	開催回数						
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価	A			
					文化賞等受賞者選考において、適切な審議が行われている。			芸術文化振興プランの進行管理について、協議を進めていくほか、協議内容を各施策に生かしていくことが必要である。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続
文化課	事業費(千円)	117	117	117								124

【施策21 市民等との連携による芸術文化活動の展開】

- 1 地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。
- 2 芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。
- 3 市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

7-21-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	拡げる	改善する						平成27年度実績
芸術文化ホール運営委員会連携事業	市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を推進し、市民の主体的な芸術文化活動の活発化と資質向上を図るため、芸術文化ホール運営委員会を支援する。	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	市民との協働による柔軟なホール運営として高い評価を得ているが、今後も社会情勢の変化に応じた運営体制の点検が必要。			市民等で組織する北広島市芸術文化ホール運営委員会の企画による事業展開は、生涯学習の充実を目指すものであり、市民協働による市民のニーズを踏まえた活動と位置づけられる。					芸術文化鑑賞事業 10事業 芸術文化創造事業 6事業
					評価指標			鑑賞事業参加人数 育成事業参加人数					
					平成27年度の評価			A					A
					多彩な事業企画、運営が行われており、文化振興の拠点として機能している。			文化公演や各種セミナーを企画・実施。関係団体などとの連携もできている。					継続
市計画<279> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 11,719	継続 11,882	継続 11,882				平成27年度の評価					11,735

7-21-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
花ホールスタッフの会支援等事業	市及び運営委員会等が主催する事業のサポート活動やパーコーナの運営など、芸術文化ホール(花ホール)を拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	主催事業や貸館事業のサポートとして芸術文化の振興に大きく寄与している。			ボランティア団体による社会貢献の活動と位置づけられ、市民協働によるホール運営の面を持つ。					花ホールスタッフの会へ交付金を交付 ボランティア養成講座の実施
					評価指標			サポート件数 講習会参加人数					
					平成27年度の評価			A					A
					ホール事業の運営において、欠かすことのできない団体となっている。			研修の機会や新たなボランティアの募集など、安定した人材の育成確保が必要である。					継続
市計画<280> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 320	継続 320	継続 320				平成27年度の評価					320

政策 8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策 2 2 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

施策 2 3 競技スポーツの振興

施策 2 4 スポーツ施設の整備と運営

【施策 2 2 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進】

- 1 市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。
- 2 市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
- 3 スポーツ推進委員や生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
8-22-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	拡げる	点検する							平成27年度実績
きたひろしま30 Km ロードレース連携事業	健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進を図るため、きたひろしま30kmロードレースを開催する。	きたひろしま30kmロードレースの開催	きたひろしま30kmロードレースの開催	きたひろしま30kmロードレースの開催	市の一大スポーツイベントとして、多くの関係団体との連携による事業運営。			本市の魅力を全道、全国にPRする事業として、また市民の健康づくり、生きがいづくりの機会を提供する事業として、関係各団体と連携した事業運営が必要。					きたひろしま30kmロードレース(参加者1,364)	
					評価指標 参加者数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
市計画<286>	継続	継続	継続	継続	団体関係者による実行委員会での協議を進め、大会を開催した。事業運営などの見直しを行った。			市外からの参加者も多く、市のPRにも大きく貢献する事業であり、関係団体と行政が連携して大会を開催した。スタート時間を見直し、安全対策を実施した。					継続	
社会教育課	事業費(千円)	300	324	324									300	
8-22-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する							平成27年度実績
市民スポーツ活動推進事業	子どもから高齢者、障がい者までさまざまな市民を対象に健康保持増進と生きがいや潤いのある生活を助長することを目的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する。	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。			各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。 地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。					障がい者スポーツ大会、赤い羽根ティール北の甲子園大会への支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30*歩ける会、スナッグゴルフ大会の開催	
					評価指標 参加者数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
市計画<288>	継続	継続	継続	継続	参加者にとって充実したイベントとなるよう、運営方法などを見直し、事業運営を行った。			事業実施に当たっては、スポーツ推進委員や関係団体との連携を図り、事業を実施した。例年どおりの参加があり、市民の健康づくりに寄与することができた。					継続	
社会教育課	事業費(千円)	555	542	500									472	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

8-22-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する				平成27年度実績	
スポーツ推進委員 (保健体育事務経費)	スポーツの普及振興を行うため、実技指導や各種大会の企画及び事業運営を行う。	推進委員報酬、研修会への参加	推進委員報酬、研修会への参加	推進委員報酬、研修会への参加	市内各地域のスポーツ・レクリエーションの振興の一端を担っている。						本市の生涯スポーツ振興の推進者、コーディネーターとしての役割が期待される。	事業の企画及び運営。全道・管内協議会への参加
					評価指標	スポーツ推進委員の参加事業数						
					平成27年度の評価	A			平成27年度の評価		A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	30キロ歩ける会など、委員が主体となって事業運営を行っている。			委員が主体となって各事業に取り組んでおり、事業内容の改善や新たな事業展開に向けた研修に積極的に参加するなど、前向きな活動となっている。			継続	
社会教育課	事業費(千円)	576	576	576							472	

【施策23 競技スポーツの振興】

- 1 ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、スポーツアカデミーにおける事業に取り組みます。
- 2 国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
- 3 市体育協会やスポーツ少年団本部等に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
8-23-001	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	改善する							平成27年度実績
スポーツ大会 出場支援事業	市民の自発的なスポーツ活動の振興を図るため、国際、全国または全道規模のスポーツ大会に出場する選手等に対して、費用の一部を助成する。	スポーツ大会出場費の助成	スポーツ大会出場費の助成	スポーツ大会出場費の助成	スポーツ振興の一手法として継続。			上位大会への参加を行政が支援することは本市のスポーツ振興にとって必要。					スポーツ大会出場費の助成。	
					評価指標 支援件数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
					大会出場の支援を行った。対象とする大会などを見直し実施した。			多くの個人や団体に支援を行い、スポーツ振興に寄与することができた。						
市計画<282>	継続	継続	継続	継続									継続	
社会教育課	事業費(千円)	1,500	1,500	1,500									1,741	
8-23-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する							平成27年度実績
体育協会活動 支援事業	市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、NPO法人北広島市体育協会の運営等を支援する。	北広島市体育協会への助成	北広島市体育協会への助成	北広島市体育協会への助成	本市のスポーツ振興を担う中核的組織であり、当協会活動の発展、活性化への支援を継続。			競技者の育成、市内のスポーツ競技の普及に取り組み団体を支援することにより、市民の健康づくり、生きがいづくりを推進する。 体育協会への本市事業の一部移管の検討及び協働の推進。					北広島市体育協会に助成	
					評価指標 加盟団体数、会員数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
					体育協会への支援は、各スポーツ団体の育成や連携強化につながっている。			体育協会が主催する各種スポーツ教室やイベントは、加盟団体との協働で実施されており、協会に対する支援の成果と言える。						
市計画<284>	継続	継続	継続	継続									継続	
社会教育課	事業費(千円)	3,118	3,118	3,118									3,118	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					

8-23-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績
スポーツ少年 団育成事業	青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。	スポーツ少年団本部への助成	スポーツ少年団本部への助成	スポーツ少年団本部への助成	子どものスポーツ振興を担う中核的組織であり、当団体活性化のための支援を継続。			子どもの健康・体力づくり、健全育成を目的に活動している少年団の支援は重要。地域における指導者の養成や確保が必要。スポーツアカデミー事業との連携推進。					スポーツ少年団本部に助成
					評価指標 加盟団体数、加盟者数、指導者数								
					平成27年度の評価	B		平成27年度の評価				A	
					組織基盤が脆弱であり、連携協働による育成が重要である。			少子化が進む中で加盟者数が維持できているのは、支援の成果と言える。					
市計画<285>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	453	453	453									453

8-23-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績
スポーツアカ デミー事業	全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。	ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施	ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施	ジュニアスポーツの選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業の実施	子どもの体力の強化、社会性を育む人づくり事業として、参加状況やニーズの変化に留意しながら、事業内容の改善を進める。			生涯に渡ってスポーツに親しむ市民を増やすため、子どものときから、スポーツに親しむ機会を拡充することが必要。体育協会、スポーツ少年団本部、地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ等との連携。					ジュニアスポーツリーダー養成、キッズスポーツ塾、種目別(バレーボール、野球、空手)講習会の実施
					評価指標 参加者数								
					平成27年度の評価	B		平成27年度の評価				A	
					事業については、一部の事業を除き委託し実施した。			子どもたちの実情に合わせた内容とするため、学校や関係団体の意向を踏まえ、事業を実施した。					
市計画<290>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	784	1,109	1,109									844

8-23-004-1	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する						平成27年度実績
スポーツアカ デミー事業 [拡大]	中学校部活動の支援として、アスリート派遣等の事業を実施する。	中学校部活動の支援	中学校部活動の支援	中学校部活動の支援	中学校部活動の支援を実施し、ジュニアスポーツの選手強化を図っていく。			全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成が期待される。					
					評価指標 参加者数								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<390>	拡大	拡大	継続	継続									
社会教育課	事業費(千円)	394	224	224									

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

8-23-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績	
スポーツ賞等表彰事業 【統合】	スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手及びスポーツの振興に寄与した者を顕彰する。	文化賞・スポーツ賞等表彰事業に統合《平成27年度終了》			スポーツ振興のため、広く市民に周知する。				生涯に渡ってスポーツに取り組む市民を増やす。夢に向かって挑戦する方、スポーツ選手を育てる活動を行っている方を讃えることは、スポーツを振興するうえで、重要な手法である。					成績による顕彰17件、功績による顕彰4件
					評価指標 表彰件数									
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A						
市計画<321>	継続	統合	継続	継続	広報紙を通じ、市民へ被表彰者の周知を行った。			優秀な成績を収めた選手及びスポーツ振興に寄与した者の顕彰を行い、スポーツ振興に寄与することができた。					統合	
社会教育課	事業費(千円)												597	

8-23-003	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	転換する						平成27年度実績
姉妹都市スポーツ交流事業	本市と東広島市の生徒が相互に行き来し、スポーツ交流を実施することにより、友好・親善を深めるとともに、生徒の心身の健全育成を図る。	生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止	生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止	生徒数、部活種目の減少により、選手選抜が困難となってきているなどの理由から休止	部活動人数の減少による競技種目の偏り等の課題があり、実施方法等を含め見直しを検討する。			本市と広島県との関係を子供たちに知ってもらう事業の一つとして、また、市内各校の交流、東広島市の人々との交流による人づくりは重要。					
					評価指標 参加者数								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<287>	休止	休止	休止	休止									休止
社会教育課	事業費(千円)												

8-23-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
全国中学生空手道選抜大会連携事業	本市を全国にPRするとともに、空手道を通じた青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。	H27事業終了			市内における空手道競技の普及。大会のスムーズな運営のための点検を怠らない。			本市を全国にPRする事業としての視点は重要。					第10回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催
					評価指標 大会来場者数								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
市計画<291>	継続	終了			スムーズな大会運営に努めた。空手道教室を開催するなど、空手道競技の普及を図っている。			大会を通じ、本市を全国にPRする取り組みを行った。					継続
社会教育課	事業費(千円)												4,500

【施策24 スポーツ施設の整備と運営】

- 1 市民が安心して利用しやすいスポーツ・レクリエーション環境を整えるため、スポーツ施設の計画的な整備と改修を進めます。
- 2 日常的なスポーツ・レクリエーション活動を支援するため、学校開放事業(全小中学校)をはじめとしたスポーツ環境の向上を図ります。
- 3 運動広場の整備を進め、市民が快適にスポーツ・レクリエーション活動を行える場づくりを図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成27年度の評価			平成27年度の評価						
8-24-003	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	改善する							平成27年度実績
学校施設(体育館)開放事業	市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校の体育館を開放してスポーツ活動の場を提供する。	市内の全小中学校で実施	市内の全小中学校で実施	市内の全小中学校で実施	小中学校に支障のない範囲で開放し、市民の健康維持及び体力向上を図っていく。			スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。					小中学校12校で実施	
					評価指標			利用団体数、利用者数						
					平成27年度の評価			A						
					団体調整会議を実施し、使用についての周知を実施した。			前期、後期とも、申し込みをしたすべての団体が利用でき、スポーツ活動の場を提供することができた。						
市計画<293>	継続	継続	継続	継続				平成27年度の評価					A	
社会教育課	事業費(千円)	5,264	5,273	5,273									継続	
													4,513	
8-24-001	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	改善する							平成27年度実績
西の里ファミリー体育館改修事業	老朽化が著しいことから、屋根や外壁、暖房施設等の改修を行う。	H27事業終了			利用者の意見を反映し、利用しやすい施設とするため、改善を進める。			スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。					改修工事	
					評価指標			進捗率						
					平成27年度の評価			A						
					改修工事を実施した。			改修工事を実施した。						
市計画<294>	継続	終了						平成27年度の評価					A	
社会教育課	事業費(千円)												終了	
													186,214	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					

8-24-002	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	改善する						平成27年度実績
大曲ファミリー 体育館改修事 業	建築後31年が経過し、老 朽化が進むとともに、給排 水・電気・暖房等の設備の 経年劣化が進んでいること から、改修を実施する。	実施設計	工事監理委託 改修工事 H29事業終了		利用者の意見を反映し、利用し やすい施設とするため、改善を 進める。			スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の 充実が必要。					/
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<206>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	6,100	208,500										

8-24-004	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	広げる	改善する						平成27年度実績
運動広場整備 事業	市民のスポーツ・レクリ エーションや市民の集い・ 交流・健康づくりの場とし て運動広場を整備する。	整備に向けた調査・ 検討	整備に向けた調査・ 検討	整備に向けた調査・ 検討	総合運動公園計画の基盤整備的 事業として計画。整備に向け、 課題の整理を行う。			スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の 充実が必要。					/
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<322>	継続	継続	継続	継続									継続
企画課	事業費(千円)	0	0	0									

8-24-005	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備える	整える	点検する						平成27年度実績
自然の森キャン プ場整備事 業	駐車場が不足していること から、駐車場を整備する。	整備に向けた調査・ 検討	整備に向けた調査・ 検討	整備に向けた調査・ 検討	不足している駐車場の拡大、整 備に向け、課題の整理を行う。			自然の中にある同キャンプ場を開放し、心身の健 全の増進を図る場を提供する。利用者ニーズに応え る施設の運営管理を行っていく					/
					評価指標 進捗率								
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
市計画<372>	継続	継続	継続	継続									継続
社会教育課	事業費(千円)	0	0	0									

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

8-24-101	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	整える	改善する					平成27年度実績
体育施設管理 事業 (体育施設管理 経費)	総合体育館、緑葉公園体育施設、住民プール、地区体育館、自然の森キャンプ場の管理を行う。	指定管理者による施設の維持管理 経常94,000千円 臨時3,132千円	指定管理者による施設の維持管理	指定管理者による施設の維持管理	老朽化している施設が多いことから、点検を怠らない。計画的な修繕を実施していく。							指定管理者による施設の維持管理
					評価指標 施設利用者数、苦情件数							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	快適に利用できるよう、点検、修繕を行った。			指定管理者による効率的な施設運営に努めた。			継続	
社会教育課	事業費(千円)	97,132	97,132	97,132							105,788	

【政策1～8を支える経常経費】

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
9-00-101 教育委員に関する経費 (教育委員会 運営経費)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員の報酬など 教育委員会会議の開催経費 教育長交際費 全道都市教委連総会負担金	平成28年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会	平成29年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会	平成30年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 教育委員会会議17回開催 全道都市教委連総会(苫小牧市)
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 開催回数			平成27年度の評価 A					継続
教育総務課	事業費(千円)	3,064	3,064	3,064	研修を積極的に行うなど、教育施策の推進に向け対応している。			北広島の教育に対し幅広く対応している。教育委員会を活用した研修会を計画的に実施した。					3,095

教育委員会事務局運営経費

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
9-00-102 学校業務主事に関する経費 (教育委員会 事務局運営経費)	学校業務主事の任用	平成28年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成29年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成30年度 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績 学校業務主事 14名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標			平成27年度の評価 A					継続
教育総務課	事業費(千円)	31,837	31,837	31,837	学校環境の保全のため、草刈り、除雪、軽微な修繕を積極的に行った。			児童生徒の安全確保、学校環境の保全に努めた。また、軽微な修繕、教材の作製などは学校経費節減となっている。					31,868

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

9-00-103 教育委員会事務局運営経費 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金	平成28年度 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託	平成29年度 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託	平成30年度 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金、会議録作成支援委託	めざす 続ける 点検する 市の教育施策を継続し、着実に進める。						平成27年度実績 教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	平成27年度の評価					継続
教育総務課	事業費(千円)	7,013	7,013	7,013	平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A	6,489
					教育委員会事務局を円滑に運営する。						
					教育委員会の運営を円滑に推進している。						

9-00-104 教職員永年勤続表彰 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容 北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。	平成28年度 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	平成29年度 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	平成30年度 伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	めざす 続ける 点検する 北海道教育委員会に代わり、永年勤務した教職員に対して、業績を称える式典を実施。						平成27年度実績 伝達式(教職員永年勤続表彰者11名)を8月に実施
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	平成27年度の評価					継続
学校教育課	事業費(千円)	3	3	3	平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A	3
					永年勤務した教職員に対して、その業績を称え、今後の活躍を期待する。						
					永年勤務した教職員に対して、道教委からの賞状を伝達し、これまでの業績を称え、今後のさらなる活躍を期待する伝達式を実施。						

教育振興経費

9-00-105 「きたひろしまの教育」作成 (教育振興経費)	事業内容 教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。	平成28年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代	平成29年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代	平成30年度 発行に係る用紙代・製本代・郵送代	めざす 続ける 点検する 市の教育理念の達成と、教育基本計画推進のため、毎年のデータを蓄積する。						平成27年度実績 300冊6月発行に係る用紙代・製本代
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	平成27年度の評価					継続
教育総務課	事業費(千円)	79	79	79	平成27年度の評価	A	平成27年度の評価			A	75
					本誌に掲載するデータが教育の各分野で利用されるよう、教育活動全般にわたる視点をもって編集・発行する。						
					各種データ等を更新し、学校統合事業の内容を掲載して作成した。						
					本市の教育に係る広範な情報を掲載し、各分野で活用された。						

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

9-00-106	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	創る	続ける	点検する						平成27年度実績
北広島市教育 施策審議会 (教育振興経 費)	学識者2名、学校関係者2 名、社会教育関係者2名、 公募1名で構成し、教育施 策に関する審議及び教育委 員会の事務事業に関する点 検評価を行う。 平成23年11月設置	年間6回会議を開催	年間6回会議を開催 改選年	年間6回会議を開催	教育基本計画を着実に推進する ため、教育委員会の事務事業を 客観的に点検する。			教育委員会の事務事業に関する点検評価は、教育基本 計画の進行管理と見直し、及び教育政策の着実な 推進に必要であり、教育活動全般にわたる視点が必要 である。					5回審議会を開催 点検評価報告書へ の意見 教育推進計画 (H28~29)の検 討
					評価指標 会議開催回数								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	平成26年度点検評価に対する 意見等を得た。教育推進計画 (平成28~30年度)の策定を 諮問し、答申を得た。			26年度点検評価及び教育推進計画(平成28~30年 度)に関する審議を中心に活動した。					継続
教育総務課	事業費(千円)	312	312	312									300

9-00-107	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
第一地区教科 用図書採択教 育委員会協議 会負担金 (教育振興経 費)	小中学校で使用する教科用 図書を採択するため、第一 地区教科用図書採択教育委 員会協議会へ参加する。	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加 臨時分(採択調査負 担金) H31年度より使用 する小学校用図書採 択	第一地区教科用図書採択教育委 員会協議会を通して教科書用図 書を選定する必要がある。			小中学校で使用する教科用図書を採択するには、 第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加す る必要がある。					第一地区教科用図 書採択教育委員会 協議会へ参加する ことにより、地域 の特性を踏まえ、 公平で透明性のある 教科書採択事務 を進めることがで きた。
					評価指標 協議会への参加状況								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	第一地区教科用図書採択委員会 協議会に参加した。			第一地区教科用図書採択教育委員会協議会へ参加す ることにより、地域の特性を踏まえ、公平で透明性 のある教科書採択事務を進めることができた。					継続
学校教育課	事業費(千円)	0	0	198									112

教員住宅管理経費

9-00-108	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
教員住宅管理 (教員住宅管 理経費)	校長・教頭管理者住宅、教 員住宅に関する経費	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	市の教育施策を継続し、着実に 進める。			校長、教頭に対し、学校の管理を迅速に行うた め、市内に住宅を提供する。また、一般教職員等 に対し住宅を提供する。					校長・教頭管理者 住宅電話料 教員住宅修繕料
					評価指標 入居状況								
					平成27年度の評価 A			平成27年度の評価 A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	管理者住宅、教員住宅の維 持管理、修繕を行って いる。			老朽化に伴う修繕、安全の確保に努めてい る。					継続
教育総務課	事業費(千円)	2,446	2,446	2,446									8,000

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

小学校管理経費

9-00-109	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
小学校運営経費 (小学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 消耗品費 印刷製本費	小学校運営経費	小学校運営経費	小学校運営経費	学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。							小学校運営経費
					評価指標							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。			学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。				継続
教育総務課	事業費(千円)	26,111	26,111	26,111								26,049

9-00-110	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
小学校管理経費 (学校教育課関係分) (小学校管理経費)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理。							指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
					評価指標			印刷物の発注及び水質検査実施状況				
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。			共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。				継続
学校教育課	事業費(千円)	75	75	75								75

中学校管理経費

9-00-111	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する					平成27年度実績
中学校運営経費 (中学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 消耗品費 印刷製本費	中学校運営経費	中学校運営経費	中学校運営経費	学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。							中学校運営経費
					評価指標							
					平成27年度の評価	A		平成27年度の評価			A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。			学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。				継続
教育総務課	事業費(千円)	19,359	19,359	19,359								19,423

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
			平成27年度の評価			平成27年度の評価						
9-00-112 中学校管理経費 (学校教育課 関係分) (中学校管理 経費)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施	平成28年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成29年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	平成30年度 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	めざす 指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理	続ける	点検する					平成27年度実績 指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
					評価指標 印刷物の発注及び水質検査実施状況							
					平成27年度の評価 A		平成27年度の評価			A		
					指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。		共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。					継続
経常経費	継続	継続	継続	継続							継続	
学校教育課	事業費(千円)	82	82	82							82	

社会教育経費

事業名 (担当課)	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
9-00-113 社会教育事務経費 (社会教育経 費)	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	めざす 社会教育関係団体登録等に係る事務手続きを円滑に進める。	続ける	点検する					平成27年度実績 社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	
					評価指標								
					平成27年度の評価 A		平成27年度の評価			A			
					適切な事務処理に努めた。		状況に応じて適切に事務手続きを進めた。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続							継続		
社会教育課	事業費(千円)	191	191	191							83		

事業名 (担当課)	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成27年度の評価			平成27年度の評価					
9-00-114 社会教育委員 (社会教育経 費)	社会教育法に基づき委嘱 生涯学習に関する諸計画の 立案・助言を行う 全道管内協議会への参加	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	めざす 平成27年度より新たな2力年の任期により協議を進める。	続ける	点検する					平成27年度実績 社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 根室開催	
					評価指標 会議開催数、大会参加者数								
					平成27年度の評価 A		平成27年度の評価			A			
					具体的な協議内容を提示し、活発な議論が進められるよう努めた。		研修会への派遣や会議運営に工夫をし、会議において活発な議論がなされるよう進め、適切に意見が反映されるよう進める必要がある。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続							継続		
社会教育課	事業費(千円)	462	462	462							207		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成27年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成27年度の評価			平成27年度の評価					

保健体育事務経費

9-00-115	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
スポーツ推進 審議会 (保健体育事務経費)	スポーツの振興に関する事項について調査・審議し教育委員会に建議する	審議会委員5名 報酬 費用弁償	審議会委員5名 報酬 費用弁償	審議会委員5名 報酬 費用弁償	本市のスポーツ振興に係る方策等について意見を求める。			審議会の意見の反映。					審議会2回開催
					評価指標			会議開催数					
					平成27年度の評価			A					A
					スポーツ賞受賞候補者の諮問を行い答申を得た。			答申のとおり受賞者の決定となった。					
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続	
社会教育課	事業費(千円)	128	128	128								54	

9-00-116	事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	めざす	続ける	点検する						平成27年度実績
保健体育事務 経費 (保健体育事務経費)	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	スポーツ関連事業の運営に欠かせない経費。 借上車の更新も必要。			スポーツ関連事業の円滑な運営に欠かせない借上車の運行管理。					借上車経費 その他事務費
					評価指標								
					平成27年度の評価			A					A
					予定どおり事業を実施することができた。			事業を実施するうえで、最適な環境を整備できた。					
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続	
社会教育課	事業費(千円)	595	595	595								615	